SDC

エスディーシー

Dive Freak Magazine

http://sdcj.cside5.com/

2007年7月
No.34

Topics

2007年SDC総会・懇親会

6月3日(日)　恵比寿・イーストギャラリー
写真提供　030　杉本　信也さん

CONTENTS

1	総会・懇親会報告(大隅楠夫)	22	神田真児氏を祝う会(宮本節子)
2	ＳＤＣの課題(大隅楠夫)	23－24	関西地区お花見会(百瀬由美子、三吉清忠)
3	懇親会初参加(江藤征雄、本田厚子)	24	関東地区お花見(大西亀美代)
4	任期を終えて(石川勝、佐藤道子、芳賀幸子)	25	フリッパーの会(堀田恭正)
5	任に当たって(島田美世子、奥原研二、瀧正明)	26	ハイキングの会(坂東正朗)
6－7	返信ハガキより	27	アウトドア活動報告(宇留賀達雄、山本伸子)
8－10	マジュロツアー(No. 707)		掲示板
	(大隅楠夫、石田邦明)	28	散骨を語る会(河原智怡)
11	スルー海DVツアー(No. 708)(宇留賀達雄)	29	ジャズライブを楽しむ会(川住規夫)
12－13	サイパン・ナイトロックス(No. 709)	30	皇居ウオーキング&ジョギングの会(瀧正明)
	(阿久津省一、村上あい子、金子弘之)	31	水中映像を楽しむ会(大隅楠夫)
14	伊豆安良里(氏家友枝)(No. 725)		ヒヤリハット例(大隅楠夫)
15	連載　伊豆・富戸だより(大脇美都子)	32	アンケート結果、関川名誉会長の米寿を祝う会
16－18	ラヤンラヤンツアー(No. 711)	33	ＳＤＣダイビングポイント情報
	(安積信、東千恵子、宮本節子)		マダン(2)(石岡弘至)
19	大阪地区スクーバ・ダイビング安全対策協議会	34－35	ＳＤＣツアー計画一覧表
	(立木博信)	36－38	賛助会員通信
	広告(マリン)	38	広告(プラネット・ワイ)、掲示板
20	呑和会・第10回(宮本節子)	39	広告(サンドウェーブ)
21	呑和会・第11回(宮本節子)	40	制作の現場から、編集雑感

表紙に寄せて　468　通山　多恵子

カメラEos Kiss Digital N、レンズ60mマクロ(クローズアップレンズ)
何か白い小さなモノがウミトサカの中に入って行きます。よ〜っく見ると「ノコギリハギ」の幼魚！大きさ1.5cm。うつむき・横向き・正面向きと、ポーズを変えて撮らせてくれて？(単に怖かっただけなのかも…)
1日、しあわせ気分になりました。
この8年でリロアンに通うこと30回。ノコギリハギの幼魚を見たのは初めてでした。
まだまだ何が出るか分からない、楽しみなリロアンです。

総会・懇親会報告

005　会長　大隅　楠夫

6月3日の総会・懇親会には、例年のように全国から96名の会員が集まりました。

今回初めての試みとして総会と懇親会を別会場で行いました。いつも総会は早く乾杯しておしゃべりを始めたい雰囲気の中で行っていたので何となく落ち着きませんでした。今回は会場を切り離したことによって、総会らしい総会だったとの感想を頂きました。

会計報告・会計監査報告、新役員選出と進み、最後に私の方からこれまでのＳＤＣの活動を振り返りながら、今年度の計画に関して話をしました。

総会が終わり懇親会場に移動してテーブル毎の懇談が行われました。今回の懇親会の新しい試みは、懇親会の後半で新会員相談、ツアー情報、各同好会、賛助会員などのテーブルを設けたことです。

今回は必ずしも成功とはいえなかったかも知れませんが、工夫次第では、単なる懇親に留まらず、もっと内容のある会にできる可能性を感じました。

新年会および総会・懇親会は全国から100名位の会員が集まる会です。多くの会員と直接情報交換が行える貴重な機会です。次回の新年会に活かしたいと考えています。

なお総会の前に希望者参加の形でスライド・ビデオショーを行いました。予想以上に多くの参加者がありましたが、映像、音響ともに今までにない良質の映像を見ていただき喜んで頂けたものと思います。

役員改選に関して

総会において3名の役員が退任し、新役員3名が就任しました。

退任役員：

総務	440	石川　勝
会計	357	佐藤　道子
ダイビング計画	225	芳賀　幸子

新役員：

会長・広報	005	大隅　楠夫(留任)
副会長・事務局	018	坂東　正朗(留任)
総務	415	加藤　京子(留任)
	542	瀧　正明(新任)
会計	166	島田美世子(新任)
ダイビング計画	457	児島慎之介(留任)
	537	奥原　研二(新任)
広報	302	福田　孝子(留任)
関西地区担当	406	立木　博信(留任)
会計監査	457	児島慎之介(留任)
ホームページ管理人	457	児島慎之介(留任)

なお地区幹事に関しては引き続き次の会員にお願いしたいと思います。

九州地区：091　山下　和俊、098　菊川　清氏
関西地区：508　安積　　信、306　宮本　節子、
　　480　菅沼　良次
中部地区：294　三輪　勝廣
北海道・東北地区：039 斉藤　靖子、245 今村　孝

名誉職等に関しては、次ぎの方にお願いします。

名誉会長	012	関川　清一
技術顧問	030	杉本　信也
顧問	010	上村　敏郎
	197	宇留賀達雄
特別顧問		吉村　成子先生

ＳＤＣの課題

005　会長　大隅　楠夫

日本シニアダイバーズクラブは、今年で創立から14年になります。クラブの理念は創立当初からいささかも変わっておりませんが、14年が経ち変わって来た所もあります。

クラブの会員数は2000年から現在まで約350名と安定していますが、内容的には、毎年30～40名の会員が入会し、ほぼ同数の会員が退会するというようにかなり流動的な構成です。ダイビングという遊びと高齢化した会員を中心としたクラブの性格上やむを得ないことではあると思います。

創立の動機は、同世代のダイバーとアフターダイブを楽しみたいとの思いであり、ＳＤＣの活動の柱となるのは、当然ダイビングツアーです。

ダイビングツアーは2000年から現在にいたるまでボランティア精神の旺盛な数名の有力ツアーリーダーを中心に年に40前後のツアーが実施されてきました。また各種懇親会・同好会の活動が活発となり、海に関する情報交換とともに、バディや良き仲間を見つける場としての機能も果たしました。このように活動が広がった結果、公認ツアーだけでなく仲間同士、個人ツアーで出かける会員が多くなりました。

こうしてクラブの当初の目的である、よきバディや仲間を見つけてダイビングを楽しむ環境は整えられたものと考えます。

しかし残念ながらツアーリーダーの交代期に入った2005年くらいから公認ツアー数が減り気味です。

これはこれまで活躍した有力リーダーが減り、それに代わる有力リーダーが出てこないことが影響しています。皮肉なことに、当初の目標であった「よき仲間探し」が進んだ結果、個人グループで出かける機会が多くなっていることが原因です。

仲間に声をかけるとすぐに人数が集まり、公認ツアーに出せる空きがなくなってしまうというものです。ここまで成熟したクラブですから、好みのダイビングスタイルの多様性や気の合う・合わないようなことから仲良しグループができるのは当然と思います。ただそのグループも閉鎖的であるといずれ衰退してしまいます。活性を維持するには、常にそのグループに適合する新しい仲間を加えて行く事が必要となります。

クラブ全体で考えても同じ事が言えます。毎年入会する会員のツアーに参加できる機会が確保されなければ、クラブ全体が衰退せざるを得なくなります。

先輩達が作ったSDCの行動原則には「個人責任」と「安全潜水」だけではなく「個性の尊重と寛容」、「助け合い」、「環境の保護」を謳っています。

「個性の尊重と寛容」に関しては、色々な価値観を持った人の集まりであるから、1つの価値観に縛られず他の価値観を認めて視野を広げようと言う事だと思います。

また「助け合い」は個人管理で行うダイビングではあるが、高齢化して足腰が衰えた場合など、助け合っていこうという先輩達の先を見越した指針であったと思います。

今私達は先輩達が打ち出した指針をあらためて思い起こし、行動したいと考えます。

どんな組織も後継者が続かなければ衰退してしまいます。今のＳＤＣでは活動の要となるツアーリーダーの世代交代が行われつつあります。

個人グループのリーダーをされている方にお願いです。先輩リーダーたちのご苦労のお陰でここまでやって来ることができました。その意志を継いでＳＤＣの活動を維持するためには新しいリーダーが必要です。今までの有力リーダーのように4つも5つも出さなくても良いのです。ツアーを募集する際に空きを用意して、年間1つでも2つでも公認ツアーを出して頂けるリーダーの数が増えれば、伝統を維持・継続することが可能と思います。

是非ご協力をお願いします。

最近世の中が何だかせちがらくなっています。「自分(達)だけが良ければいい」という考えの人が多くなっている気がします。そのような考えが蔓延すると人々の信頼関係が失われ、その組織は弱体化すると思います。ＳＤＣはそのようなクラブにしたくはありません。会員一人一人の貢献活動の積み重ねによって先輩達が築き上げてきた伝統を守り、更に発展できるものと信じています。

懇親会初参加

648　江藤　征雄

本年4月に入会いたしました、東京・町田市の江藤征雄(会員No.648)です。

SDCの行事には今回の総会が初めての参加でした。総会・懇親会に出席した印象を一言で申し上げますと、皆さんとても若々しく溌剌としていることでした。

私も年齢を超えた若さには自信がありましたが、皆さんの若さとエネルギーを頂き更に若くなったような気がします。また、ダイビングを軸としてその他いろいろ楽しそうなサークルがあり交流が行われていることがわかり総会に出席して良かったと思っています。

ところで、私は昨年4月から(待望の)毎日が日曜日になりました。そして、20代の頃盛んに行っていましたが、仕事の関係で長い間中断を余儀なくされていたダイビングを本格的に再開することとしました。

昔はBCDやダイブコンピュータなど無しで、Cカード講習なども普及していなかった時代でしたので、潜水士の資格をもっていた友人からプールで簡単な訓練を受けた後、翌日伊豆の海で水深30mといったかなり乱暴なダイビングを行っていました。

久しぶりに再開してみると前述の装備面の進化もあり、浦島太郎のような感じになりましたので、再開するに当たってはもう一度ゼロスタートしようと思いOWの講習を受けた後、ファンダイビングとステップアップ講習を重ね、現在はMSDを取得しております。

主なダイビング場所は沖縄（本島恩納村、ケラマ諸島、石垣島など）で、1年半ほど前から2ヶ月に1度ぐらいのペースで沖縄に通っています。そして、昔行っていたスピアフィッシングを現在は水中写真に切り替えてダイビングを楽しんでいます。

35年(ぐらい)ぶりに再開して沖縄で見たものは、サンゴが大きなダメージを受けていることでした。それは、昔の状態を知っている者としては耐え難い光景でありました。

このまま放って置く訳にはいかないと思い「やらないよりはマシ」の精神で昨年より沖縄のサンゴ植え付け活動に参加し、今年も10月下旬に行く予定でおります。

サンゴ植え付け活動については、ＳＤＣの皆さんは既におやりになっていることとは思いましたが、そのことを役員さんにお話いたしましたらＳＤＣの本年度ツアーの一つとして提案して欲しいとのお話がありましたので、別途提案をさせて頂きたいと思っております。

入会早々お願いとなりましたが皆さんにご参加いただければありがたいです。

今後いろいろな場を通じ交流を深めさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

647　本田　厚子

私は横浜青葉区に住んでおります。本田厚子と申します。

この会を知りましたのはマレーシアの海カパライ島に行っておりました時ＳＤＣの方、渡辺さん、村上さん、佐々木さんに初めてお会いしまして、シニアダイバーズクラブがあるのでと入会をすすめられました。

これまでの私は気分だけでも30代と思っていましたので正直びっくり？でも現実は60も過ぎ、シニアのグループに入るんだわと苦笑いです。私は行きたくなったら一人でも出かけておりました。でもこれからはＳＤＣでダイビングスポットへのいろいろのグループがあるというので、日本に帰り早速入会させて頂きました。

6月3日の総会、大勢の方々の活躍ぶりにおどろいております。ビデオ、写真とても楽しく拝見させて頂きました。

95年にCカードを取得、今715本です。海に入ったらコンピューターの許す限り潜っております。魚、動物、植物大好き、水が好きなので温泉も大好きで1泊で6回ぐらいお風呂にはいります。他にも趣味としては琴、これは今ボランテアで仲間と活動をしております。最近始めたのは日本画です。

普段は体力を落とさないようにスポーツクラブでトレーニングしております。

このような私ですがダイビング以外で又お声をかけて頂ければ幸いでございます。

懇親会は年2回あるとの事、次回は1月の新年会でしょうか？いろいろな方にお会いし、いろいろな情報をお聞きすることができますので次の懇親会楽しみにしております。

どうぞよろしくお願いいたします。

任期を終えて

440　石川　勝

総務を担当しましたがあっという間の2年間、それでも多くの方と知り会い私の大きな財産となりました。総務の仕事は新年会、総会・懇親会をセットするのが主になりますが、一番想定外の出来事として案内葉書の返信が期日までに投函されず出席者の人数が当日まで決まらずあたふたしていた事が思い出されます。最後の仕事では司会進行を担当しましたがマイクの調子が悪く皆さんにご迷惑をお掛けしてしまい、事前にテストをするぐらいの配慮をしなくてはいけなかったと反省をさせられました。役員は退任しますがこれからも協力できる事があればＳＤＣの発展のために少しでもお役に立てればと思います。

357　佐藤　道子

ＳＤＣの会員として少しでも何か役に立てばと引き受けたものの、経理経験もなく、エクセルも上手く使いこなせず、会員数も360名以上の大所帯‥

私に取っては責任の重い役でした。

計算が正しく打ち込まれ当たり前なのに思わずパソコンの前で一人拍手した事も多々ありました。

前任の故庄司堯子さんのご協力と叱咤激励なければ2年間務まらなかったと思います。

小さなミスは色々ありましたが無事終えました。

けれども彼女に感謝と退任報告が出来ず寂しい限りです。

会計最後のお願い

☆年会費は期日までに出来る限り納入お願いいたします(毎年の事ですから)。

☆自分の会員番号を忘れずに！(ここでは名前より大切かも知れない？)

2年間で新たな良き友人を得てこれからもツアー、同好会に参加して行きます。

ありがとうございました。

225　芳賀　幸子

2年間の役員を終えましたが、本当に沢山のお仲間に会うことが出来ましたし、有意義な時間を過ごす事ができました。

2年前児島様と二人でお引き受けいたしましたが、ツアー計画がなかなか出していただけなく、お役に立てず心苦しく思っています。これからもクラブの発展のためツアー計画のお手伝いをさせて頂きます。

2年間ありがとうございました。

任に当たって

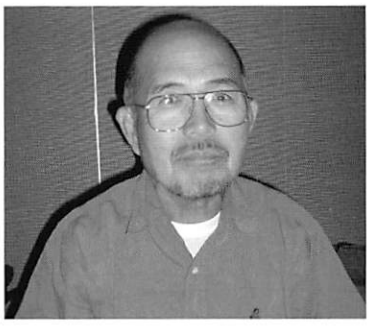
166　島田　美世子(会計担当)

この度、会計係をお手伝いする事になりました島田です。初めのうちは未だ仕事もしております故お断りしながら逃げておりましたが。とうとうと云う訳ではありませんが、現在の仕事をしながらでも出来る限りで良いのでとのお言葉でお引き受けする事になりました。引き受けた以上は片手間にならないように前任者そして諸先輩方々のお力を借りながらお手伝いをして行きたいと思っております。

今回の総会で初めて受付に座り、参加者全員の方達のお名前とお顔が一致出来た事にお手伝いを受けて良かったと感じました。また、会長からは「来年は15周年に当たる」とのお言葉でさらなるイベントがあるかも分かりません。今回の96名以上の参加者が増える事を期待しております。

また、会員の方達の要望等々があれば積極的に耳を傾けＳＤＣの発展の為にも提案していけたらと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

537　奥原　研二(ダイビング計画担当)



図らずも、児島様から、計画担当の手伝いの依頼を受けまして、日頃ＳＤＣにお世話になっていることもあり、お引き受けすることにしました。

まだ、どういうことをする担当なのか、はっきりはわかっていないのですが，私自身の経験から言えば、まずは、ダイビングの年間計画をもっと増やすこと、入会したての会員・経験の浅い会員が参加しやすい計画を作ること、計画表を見ただけで、行ってみたいなと思わせるようなプログラムを作ること、何度でも行きたくなるような内容を探ることかなと思っている次第です。

どこまでできるか判りませんが、2年間頑張ってみる積りです。よろしくお願いいたします。

542　瀧　正明(総務担当)

ダイビング歴、入会歴ともに、まだ日が浅い僕に何故～という思いはありますが、平均年齢より若干(たかだか5～6歳ですが)若い。

「君、ＳＤＣの中では多少でも若い方なのだから会のために尽力し、動きなさい！」この一点だけであろうと今は自分なりに咀嚼しております。

しかし、動きすぎはやはり、エアーの消費が早い～いつ何時フロートを上げてギブアップという事になるやも知れませんが、それでもよし！～と心を決めました。

任半ばにして～これは十分考えられますが、お受けした以上、当然ですが出来得る限りの事はさせて頂く所存です。

兎にも角にも会の維持・発展。同様に楽しきクラブライフ～これには皆様方の後押し、お一人お一人のお力添えが不可欠です。

ご意見、お気付きの点等がございましたら、お話をお聞かせ頂けたらと思います。

ＳＤＣ～来年は15周年を迎える節目の時期でもあります。

更なるご協力を賜りますようお願い申し上げる次第です。

返信ハガキより

この夏は孫にC-カードを取得、一緒に海外ツアーに参加と考えています。
055　鶴若　富夫

ぼろぼろ元気に過ごしています。
098　菊川　清氏

ログブックを開いて昨年は1回しか潜っていなく、体調悪く気分も沈んでダラダラした生活でした。今年は個人的にまず6月にアクアガーデンさんにお世話になりに行きます。次々と続けば良いと思っています。続けるぞ！
195　向山　雅子

ダイバー6月号、10年目のマブールマリンデイ特集に長野恭子の一口コメントが出ています。ＳＤＣのPRにもいささかなっているかも？お読み下さい。
247　長野　恭子

3月22日～27日JAL直行便マジュロ一人旅が、大隅さんグループと偶然会え、マジュロでディナーなどご一緒でき楽しかったです。マジュロのサンゴの美しさに感動しました。
270　河原　信子

ダイビングは引き続き楽しんでおり、最近では4月にリロアンに行って来ました。
358　渡辺　靖明

5月末現在体調回復中、未だダイビング再開始の準備中です。早く潜れるとうれしいのですが。　360　三宅　尚

7月に入ってメキシコのラパスに行こうと思っています。フィエスタによるコルテス海クルージングです。行ってみたいと思う方いらっしゃいますか？
374　藤本　広子

カラーになった会報に感激です。
役員の方々のご努力に敬意を表します。
411　須永　勝子

久し振りで5月のフリッパーの会に出席しました。顔なじみの方々にも会えたし5mプールの2時間が楽しくてあっという間でした。　425　浅原　昌子

5月13日～17日迄石垣島へダイビングに行って参りました。天候にも恵まれ船酔いはしたものの、マンタが現われたので感動いたしました。バースデイダイビングでした。　452　藤巻　静枝

レンベ海峡とリロアン・トロパラに通っています。この半年で在宅は2ヶ月弱です。　468　通山　多恵子

3月マジュロに行きました、その時ＳＤＣの方がいたようでしたがグループが多く、分りませんでした。
502　井上　次郎

西オーストラリア・エクスマウス(ニンガルーリーフ)にジンベイザメを見に行きました。楽しい‥海面すれすれを泳ぐジンベイザメのすぐ側を一緒に泳ぐその喜びを体験してきました。　507　永田　民子

来年4月10日～16日の日程でトウバタハクルーズのツアーを計画しています。皆様奮ってご参加下さい。　508　安積　信

5月連休シパダン・マブールに行ってきました。やっとピグミーシーホースの写真が撮れました。　509　前原　操

個人ツアーで4月12日～20日トウバタハとドンソールで潜ってきました。トウバタハもとてもきれいで良かったのですが、ドンソールのジンベイは100%で満足でした。
575　宮田　まき子

返信ハガキより

昨年1年間怪我のためダイビングから遠ざかっていましたが、5月連休に1年ぶりに伊豆の海に潜りました。まったく初心者に戻り1つ1つ思い出しながらの2本でした。でもこれでまた火がついたように暇をみつけては海に出かけるようになると思っています。　589　上野　恵子

雪もだんだん遠くなり、私のシーズンもそろそろ終わり、これからは又ダイビングに参加させていただきたいと願っています。　343　内山　数子

今年は9月まで毎月ダイビングする予定をたてました。5月末にケラマ阿嘉島ダイブです。楽しんできます。
610　白松　礼子

ゴールデンウィークはボホールでした。金色のバラクーダも健在で、ずいぶん大きくなったように思いました。数は少し減ったようですが、1つの群れの寿命ってどれ位のものなのでしょう？
406　立木　博信

6月に初めてＳＤＣの石垣島ツアーに参加させていただきます。
今からとても楽しみにしています。
628　杉村　明子

4月下旬にＳＤＣメンバー3人とバリ島ムンジャガンで潜ってきました。魚影はそれ程でもありませんが、温泉に浸ってのんびりするには適切な処です。　423　村上　信一

2月のニューカレドニア、お花見の会に参加しました。1月に坐骨神経痛をやって、今はリハビリ中です。もう少し体の見通しがついてから活動したいです。　630　斉藤　昭子

宇留賀さん達と山に行く機会がありました。この冬はスキーが中心でダイビングは遠のいていましたが近々石垣のツアーに参加します。
427　木村　満男

入会させていただいたばかりでツアーはパプアニューギニアに連れて行っていただきました。これからは年に2～3回参加させていただきたく思っております。
638　杉本　久美子

昨年は海に行けずSDCにいてもいいのかしら‥と悩みました。様々な会を開催して下さり、陸でもダイバーの方々と楽しい時間を過ごせました。SDCに入っていて良かった～。　486　塙　恵美子

今年からお世話になります。7月末のボホールに初参加します。楽しみにしています。　644　門井　久男

4月22日から3泊4日で慶良間に行って来ました。天候には恵まれませんでしたが海の中はきれいで魚も沢山いました。
499　鈴木　暁美

色々な同好会に参加をし、皆様より元気パワーを頂いております。海・陸共に楽しんでおり、身体には気をつけようと思っています。　128　平野　昌子

718ボホールツアーに参加予定です。関西の方々との交流も楽しみにしています。　637　川住　規夫

4月よりフリッパーの会でフィンの練習をしております。ツアーは5月と9月に申し込みをいたしております。会員の皆様に追いつこうと思っております。　640　山崎　利江

4月にニンガルリーフへ行き、ジンベイを見てきました。
225　芳賀　幸子

ＳＤＣボホールダイビングに初参加させていただきまして、感動の連続で楽しい時を過ごし、6月の石垣島でスキルアップできる様願っています。　642　船戸　ミチ子

マジュロツアー

（ツアーNO. 707　3月22日～26日）

リーダー報告　005　大隅　楠夫

今回のツアーはフリーウェイツーリストから直行便が出るとの情報があり、急遽企画したツアーでした。

急な企画でしたが、マジュロに行きたいがグァム経由の各駅停車の航空便ではと二の足を踏んでいた会員6名が集まりました。

このチャーター直行便は、マーシャル政府の観光事業政策でJALと提携して企画され、マーシャルのダイビングサイトを開発してきたマーシャルダイブアドベンチャーズの吉居智司オーナーの協力で実現したようです。

会報33号の西村さんのレポートにありますが、1回目のチャーター便は2月に運航され、お客の多くはダイバーであり150名を越していたようです。一度にこれほど多くのダイバーが来島したことがなかったので、受け入れ側が不慣れで大分混乱が有ったと聞いていました。今回も100名を越すダイバーが押しかけましたが、前回の学習効果があり、大きなトラブルはなかったようです。イベントリーダー・吉居さんが無線機片手に陣頭指揮でさばいてる姿が印象的でした。

ガイドは日本およびミクロネシアのダイブショップからの応援部隊がかなりいたようです。ボートも普段ダイビングに使用しないようなボートも駆り出されていました。普段はホテルに日本人スタッフはいないそうですが、今回はツアーデスクなどのサービスも全て日本人スタッフをそろえて、帰りの航空券の発券まで行っていました。

ガイドも1回目の時は、1日2グループ掛け持ちで5本潜ったそうですが、今回は3本と言っていました。夕食後のログ付けにも参加してくれるくらいゆとりがあったようです。

頑張る石田さん

1. アクセス

行きは深夜の羽田、帰りは成田と変則コースでしたが、羽田から5.5時間と魅力あるコースでした。

4月からグァムからのマジュロ直行便が周に6便運航されるようになり少し便利になりました。

2. ホテル&ダイブショップ

島に3つあるホテルのうち、一番大きく島の中頃にあるマーシャルアイランズリゾートに泊まりました。ダイブショップはロバートレイマーズホテルに拠点を持つマジュロで唯一のマーシャルダイブアドベンチャーズです。

4月からロングアイランドホテルにサイパンを拠点とするダイビングショップ・MOCの支店がオープンするそうです。

3. 食事

2月のチャーター便で行った人やガイドなどの情報から、台湾レストランに2回、韓国レストランに1回行きました。2軒とも安くて美味しかったです。レストランまでタクシーで、一名75セントきっかりです。4日目はホテルでサンセットバーベキュー、ハワイアンに似た歌と踊りのショーつきでした。

4. ダイビング

まず初めにサンゴスペシャリティーの講義があります。手袋着用の禁止、サンゴに触れる事の禁止、着底した場合に砂を巻き上げないようにとの注意です。これは豊かなサンゴの環境を守る為の方策です。

マーシャル諸島は環礁の上に首飾りのように連なって点在する島からなっています。ダイビングポイントは環礁の内側のラグーンと外洋の両方にあります。冬場は風が強くあまり外洋には出られないようです。

我々6名ともう一つのグループに対し、現地ガイドと日本人ガイドの2名が付き、それぞれのグループを交代でガイドする変則的なものでした。

1日2ダイブ、9時半集合1本終了後島に上陸してランチ、午後1本潜って帰るというのんびりしたダイビングを楽しみました。

ラグーンは大きなサンゴの根もありましたが、白い砂地にきれいな根が点在する癒し系のポイントです。

3匹の豚さん？

最後に1本だけ外洋ポイントに潜りました。大きなハマサンゴが続く根のドロップオフダイビングです。ラグーンダイブと海の色が全く違う、青さが違う素晴らしいものでした。海底の深さの違いによるものでしょうか。ニジハギの群れが印象的でした。

5. 見所

マーシャル諸島のポイントの中には回遊魚がガンガンというようなポイントもあるようですが、何といっても見所はみごとに群生したサンゴの景観です。有名なアルノ環礁は雨季の5〜10月に行く事ができるようです。

魚の固有種ではマジュロスズメダイ、スリーバンデットアネモネフィッシュがみられました。この他にはイエローバンドラス、クジャクスズメダイ、イエローカーディナルフィッシュ、ニジハギの大群などをみる事が出来ました。

6. 環境保護

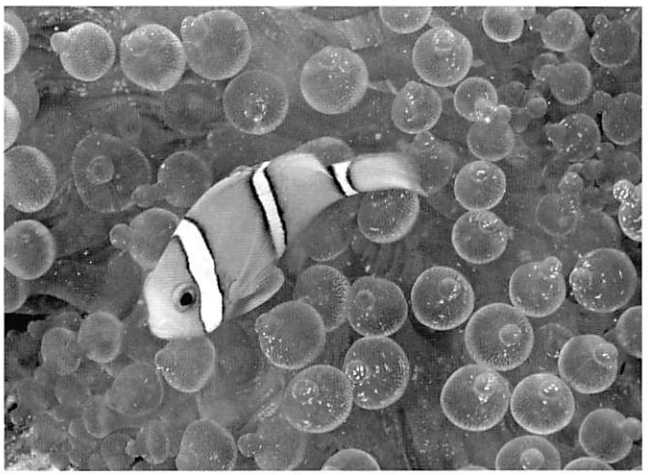
マジュロは海抜平均3mの国土なので、現在進行中の地球温暖化現象が進むと、50年後には海中に沈んでしまうのではないかと不安視されています。

マーシャル政府は自然保護と経済発展が両立できる観光開発を目指しています。ゴミ処理対策では、日本から導入した技術でプラスティック廃棄物を油化して燃料に変換して再利用しています。

1日2本なので比較的時間的な余裕があり、シャワーを浴びた頃お呼びがかかってホテルの1室に集まり、毎日夕食前から宴会でした。

会計係、飲み物・食べ物調達係、宴会招集係、買物係など全員で役割分担して盛り上がりました。

同じホテルでＳＤＣ会員の248若狭英彦さん、270河原信子さん、540浅田章さんの3組にお会いしました。直行便ならではのことでした。



3本線クマノミ

参加者

005　大隅　楠夫
006　大隅　照子
056　石田　邦明
128　平野　昌子
166　島田美世子
544　海老原　新

マジュロ雑感

（ツアーNO. 707）

056　石田　邦明

マジュロの海については、NO33号の西村さんのレポート、その他がありますのでそれを参考にしていただきたく、私は今度のツアーで感じたことを記してみたいと思います。

マジュロへ行ってきます。「エーッ、それどこ？」と云われます。マジュロは南の島でグアムとハワイの間にある小さな島だよ、と説明しても大抵の人はピンと来ないようです。

太平洋は広くて、そして小さな島があちこちに散らばっています。メラネシア、ポリネシア、ミクロネシアと我々ダイバーが遊びに行くエリアも色々な呼び名があるようです。

そこで、ちょっと調べてみました。

メラネシア…太平洋南西部、赤道の南、東経180°の西の区域の島々。ソロモン、ニューカレドニア、フィジーなどの諸島があり、住民はパプア族、とメラネシア族が多い。独立国はナウル、フィジー、パプアニューギニア、ソロモン諸島、ツバル、キリバス、バヌアツなどダイバーにお馴染みでもあり、最近大地震がありました。

ポリネシア…太平洋上のハワイ、ニュージーランド、イースター島を結ぶ三角形の中に位置する島々の総称。ほぼ東経180°の東の区域、ハワイ諸島、サモア諸島、ソシエテ諸島などがある。タヒチ島やポリネシアンダンスが有名ですね。

ミクロネシア…太平洋中西部の諸島群の総称で太平洋の島々を三大別した時の一つ。

カロリン諸島、マーシャル諸島、ギルバート諸島、マリアナ諸島等があって第一次大戦後は日本の委任統治領となって南洋群島と呼ばれ、第二次大戦後は多くが米国信託統治領となった。1970年代以降は独立が進む。この地域が日本から比較的近く、我々ダイバーにとっては一番親しみがある地域かと思われます。

さて、マジュロはこのミクロネシアのマーシャル諸島共和国の首都で人口6万人、1,200余りの島、そして29の環礁から成り立っています。ともかく細長い島で幅が2～300m、（もっとあったかな？）右へ行っても、左へ行ってもすぐに海に出会うという、海抜2～3m、昨今の温暖化現象で水没が懸念される島でした。明らかにマジュロ原住民とおぼしき人々は男女を問わず、この地域特有の太めの方が多く、余裕と云うか、豊かさを感じさせてくれます。これらの島々へ行って嬉しいことの一つは、私のデブが目立たないことです。しかし、ダイビングで行った他のミクロネシアの島々と比較して経済的な豊かさを感じるものの、雰囲気がチト違う。フィリピン、インドネシア、あたりとはかなり違うような気がしました。アメリカあたりの援助や影響が濃いのかなぁと思ったりしました。どうなんだろう？

島の幅ギリギリの飛行場

いつもダイビングに行って感じることですが、日本人の若者の活躍ぶりです。日本人が日本人を相手に熱心に仕事をしている図ですね。今回も例外ではなく、現地ホテル内にツアーデスクを持ち込んでいて、ダイバーガイドたちがテキパキと処理していました。JALとの提携で力が入っていたことは認められるにしても、現地人スタッフがやる気を削がれるのではないか、と心配です。それとアジア系の人たちの勤勉ぶりが目に付きました。愛想が好くて商売熱心で、美味しかったレストランは台湾とか韓国のお店でした。対照的にホテル近くの現地のスーパーマーケットはエアコンが効いてなくて暑かったし、現地人の店員は全く素っ気なかったのが印象的でした。マジュロは同じミクロネシアでもトラックやポナペとちょっと違うなぁ、と思った次第です。

スルー海DVツアー

（ツアーNO. 708　2007年4月18日～24日）

リーダー　393　高橋　馨　　レポート　197　宇留賀　達雄

昨年ＳＤＣのツアーにスルー海の世界遺産「トウバタハ」のDVツアーが有り、そこに参加された方の感想では何れの方も果々しいものでは無く少し心配。

でも今回は船もクルージングの海域も違うとの事なので、果たしてどうなのだろうと思いつつ、参加者が足りないとのことだったので僕の山の仲間を同行し、リーダーが初めてと言う高橋馨さんのツアーに参加。

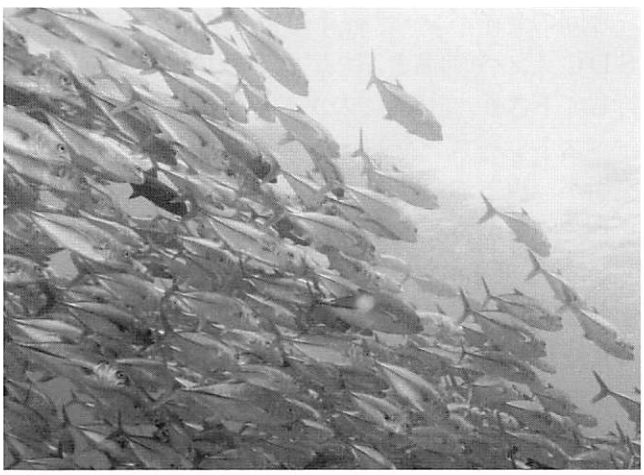
早朝にも拘らず全員定刻までには集合。フィリピン航空は手荷物が20kgに厳しく制限されていて(8,000円を支払って1年有効のスポーツプラスの申込をすると40kgまでOK)しかも機内持ち込みは7kg以下だと言う。

機内持ち込みの7kg制限は記憶が無く、僕のカメラ一式だけで13kgにもなり、ハウジングからカメラ本体を外したり、交換レンズを抜いたり大変！でも結果は何のチェックも無く？？？

午後早めにマニラ到着、市内のセンチュリーパークホテルに宿泊。マニラ宿泊は初めてであるが街路やショッピングセンターの周りにはお金を欲しがる子供が群れる。翌朝マニラを発ってプエルトプリンセサに到着。この町はフィリピンで一番清掃が行き届き綺麗な町とのこと。

船は新しくは無いが、かなりの大型船(60人乗り、350t)以前は海洋練習船であったとか。
船室はシングル又はツインユースの部屋が幾部屋か有るものの、基本は二段ベッドの8人部屋。

われわれはこの8人部屋を2人でゆったりと使用。

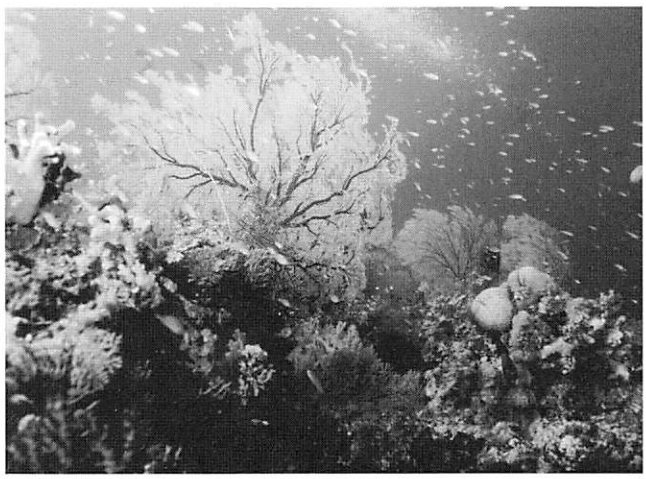


トウバタハ・デルサンレックのギンガメアジの群

初日はチェックダイブを1本だけで終了。翌日から4日間は1日4ダイブ。
2日目トウバタハリーフのデルサンレック等を潜る。透明度も30m近く有り、ドロップオフに群れるギンガメアジやロウニンアジ、バラクーダ、ホワイトチップ等予想以上のすばらしい海であった。

世界遺産のトウバタハリーフの海域を潜るのに一名3,000ペソ(日本円で約9,000円)と言う法外なお金を取られるのには吃驚！年々値段が高くなっていると言う。因みに昨年は1,000ペソであったという。

最終日のジェスピーリーフなどでは魚影が見られなかったものの海そのものは期待以上。船も大きくその為揺れも少なく、料理の品数はややお粗末で品数は少なかったものの満足して下船。



ドロップオフに群れる魚

22日は陸の世界遺産アンダーグランドリバーの観光に出かける。ここはプエルトプリンセサから車で3時間、未舗装の悪路に耐えて行かなくてはならない。石灰岩で出来た鍾乳洞の地底川で8km程の洞窟にイワツバメとコウモリが群れる。

日本の秋芳洞等とは趣を異にしている。

フィリピンでのロングステイの資格を既に取得し、この5月から生活の大半をこのプエルトで生活されると言う高橋さんの新居を案内して貰い最後の晩餐。満足の海であったので来年5月トウバタハを避け、大物の海だと言うスルー海のサンミゲルのクルージングを予約して終了。

リーダーの高橋さんに感謝。

サイパン・ナイトロックス講習に参加して

（ツアーNO.709　5月9日～11日）

リーダー　419　村上　あい子

レポート　624　阿久津　省一

昨年5月に入会し、初のダイビングツアー参加が、ＳＤＣが目指すダイビングをより安全に楽しむためのスキルアップという活動方針に沿ったものとなり、ＳＤＣでの幸先のよいスタートとなった。エンリッチドエアーナイトロックスダイビングとは、通常酸素濃度21%のエアーを、酸素濃度を21%より濃くした主に32%及び36%を使用したダイビングである。メリットは窒素濃度が薄くなった分、ダイビング後体内に蓄積される残留窒素が減り、同じダイビング時間であれば減圧症のリスクが低減され、また、同じ残留窒素まで潜るのであれば、ダイビング時間が大幅に延長出来ることである。

今回参加のきっかけは、昨年の12月、GBRのダイブクルーズに参加した際、ナイトロックスタンクを使用するかどうか聞かれたことによる。海外ではナイトロックスタンクを使用したダイビングが多いようである。オウンリスク、バディダイブシステムが浸透している欧米での考え方であろうか！機会があれば受講したいと考えていた折りのグッドタイミングで、ＳＤＣツアー予定表にベストシーズンのサイパンでナイトロックスSP取得ツアーが発表され申し込んだ。

今回のツアーはツアーリーダーの村上さんを含め4名と、少数厳選された？(私以外は)メンバーとなったが、SP講習としては多からず少なからずでベストな人数であった。

サイパンは、リーダー以外は全員サイパン初デビューとなったが、リーダーの村上さんはサイパンの魅力にはまり、数え切れないほど訪れているそうで、ダイビングポイントやアフターダイビングの楽しみ方を知り尽くしており、お陰で、各ポイントの魅力、アフターダイビングの楽しみ方を伝授していただき、大満足のサイパン初デビュー、ＳＤＣ初デビューとなった。

サイパンの魅力は何と言っても日本からのアクセスの良さとリーズナブルな料金だと思う。また、ダイビングポイントも大物からマクロ、そして地形も癒し系からアドベンチャーラスとダイビングのほとんどの楽しみ方が味わえることだと思う。村上さんが取り憑かれた理由も分かるような気がした。

今回参加のメンバーは、皆さんいずれも私にとって刺激的な人達であった。リーダーの村上さんを始め高橋さん、日野さんは世界の海、まさに七つの海を股にかけて潜っている人達である。村上さんはダイバーの究極の憧れである、コスタリカ・ココ島、高橋さんはガラパゴスを潜るための講習受講である。日野さんは退職後にダイビングを始めて世界を2周もしながら400本のキャリアの持ち主、より安全なダイビングを目指しての受講である。また、日野さんは1931年生まれの76歳、一緒に潜ってみてその元気さに驚かされた。私も頑張ればあと15年はダイビングが出来るかと元気を頂いた。

最後になりますが、今回お世話になった賛助会員プチアイランドの金子さんには、国内における事前学科講習から現地での海洋講習、また、合間を見ての学科の補習。またまた、その他の技術指導、アフターダイブと大変お世話になりました。ありがとうございました。

リーダーレポート　419　村上　あい子

今回のサイパン・ナイトロックス講習ツアーは、ＳＤＣメンバー4名とぷちアイランドの金子さんが同行して下さり、計5名でのツアーとなりました。

ベストシーズンを迎えたサイパンに到着すると火炎樹が、真っ赤に花をつけまるで私たちを歓迎してくれているかのようでした。

せっかくサイパンまで行くのだから大いに楽しんできましょう！！と言う事で、大変な学科講習は、日本で済ませて全員合格をいただいてのサイパン入りでした。エンリッチド・エアー・ナイトロックスのタンクを使用し、2本フアンダイビングをしてダイブテイブルの記入をマスターし講習の全て終了です。全員無事

エンリッチド・エアー・ナイトロックスのライセンスを取得できました。エンリッチド・エアー・ナイトロックスのタンクを使用してのダイビングの感想はと言うと二本ダイブした後も、頭はすっきり、体も全く疲労感がなく、やはり違うなと思いましたが、テキストによると心理的なものだと書いてありました。この爽快感って、単なる私の気のせい！？

参加された皆さんとてもお元気でボートダイブ二本でやめるのかなと思っていたら、とんでもない。三本目のビーチダイブまでしっかりダイビングしてきました。

アフターダイブはたっぷり飲んで食べておしゃべりして。大いに楽しみました。

それにしてもこのパワーはどこから来るのでしょう？恐るべしシニアダイバー！！

私は初リーダーだったのですが、優しいジェントルマン達に支えられ、ぷちアイランドの金子さんの援護射撃もあって、楽しいツアーになりましたこと、心より感謝しています。

参加者　393　高橋　　馨　419　村上あい子
　　624　阿久津省一　639　日野　三郎

エンリチッドエアー(ナイトロックス)SPツアー

金子　弘之

皆さんナイトロックスを知っていますか？

初めて耳にする方、名前だけは聞いたことはあると言う方も…

私たちが呼吸する空気は主に2種類のガス、窒素(79%)、酸素(21%)から構成されていますがナイトロックスとは酸素21%を超える割合に高められた空気(特に一般的なのは酸素30%～40%)のことを言います。エンリッチド・エア・ナイトロックスを使用することは、より長く水中で過ごせたり、より短い水面休息時間でのダイビングを可能にし、窒素の影響を緩和してくれるので1日に複数回のダイビングをする場合や、長期にわたるダイビング旅行などでは特に有利になるのです。

海洋実習はどこへ

それは昨年の11月、八丈島伊勢海老ツアーに参加されていた村上あい子さんが「ね～ェ、金子さん、私、ナイトロックスを取りたいの、講習できるかしら？」と聞いてきたことから始まった。「もちろんできますよ、何時ごろですか？」「私ね、水温が高いときが良いのね、それと私の空いているのは4月か5月」待てよ、関東でナイトロックスを扱っているのは伊豆の大瀬崎と土肥。その頃の水温は17℃前後、沖縄にしても22℃前後だし梅雨の走りか…「では、東京に帰って調べて連絡しますね」と言うことで海洋実習地の決定は先送りとなった。

東京に戻り調べると沖縄では全くナイトロックスを扱っていないことが分かる。次に東京から近い暖かい海に選ばれたのがベストシーズン5月6月で水温28℃が予想され3時間で行ける“サイパン”

調べると一軒だけだがグァム島から船で酸素を輸送しナイトロックス32%の空気を製造してくれるというサービスがあったので「村上さん、サイパンでの講習はいかがですか?」と連絡を入れる。「サイパン、いいですね、暖かいし、お安いし」と言うことでここにめでたく日本からはるばるやってきてサイパンで初となる。エンリッチド・エア・ナイトロックスSPコースの開催が決定したのでした。

透明度がすばらしい

参加者は4名、4月に東京で学科講習を終了、Gウィーク明けの5月8日に成田を出発。

5月9日～10日でボートダイブ(テニアン島のグロッド、フレミング)、サイパン島の(ディンプル、沈船)ビーチ(オブジャン、ラウラウ)計6ダイブ。

休憩中やログ時間に潜水計画を皆さんで練りながら楽しく講習が終了しました。

エンリッチド・エアのチヤージ室で

金子のサイパン上陸は今回で9回目なのですが、夏に行くのは初めてで水温の29℃は私としては高すぎてマスクの中で汗が目に入り目がショッパクて‥

しかしゲストの方たちは快適だったようです。

今回1番印象に残ったのは、透明度、どのポイントも抜群で50mは軽く越えていて夏の日差しが水底まで届く本当に水中が明るく青く綺麗な海でした。

夏のサイパン、気に入りました。

「エンリッチド・エア・ナイトロックスSPコースの開催地にサイパンは良いな～」なんて思っていると村上さんが「金子さん、サイパンでのナイトロックスの講習を恒例にしたらいかが？」と、言ってくださいました。

是非やりたいすね！リクエストお待ちいたします。

海・ショップ・バディ　3拍子そろったよ～

西伊豆安良里ダイビングツアー　（ツアーNO. 725　5月21日～22日）

リーダー　172　島尾　愛子　　レポート　603　氏家　友枝

22、23日の予定が都合で21、22日に変更になり、実際には20日(日)からツアーが始まった状態でした。前日の低気圧の名残でうねりが少しありましたが、20日午後から3人でまず1本「沖の根」に潜りました。勿論トビエイ狙いです。出ました！といっても1枚だけ。ガイドのＹＯＫＯさんから鰯の群れがいるときはトビエイは出にくいと説明を受けていたので、だめかなと思っていましたが、尾無しのかわいいトビエイをしっかり見ることができました。

明けて21日は朝からピーカン！海も穏やかで、1本目は「沖の根」でトビエイ待ち。やはり出ました。本日「早朝サービス」で3枚！少し透明度は悪かった(8m)もののはっきり見えました。レアものの「ウチウラタコアシサンゴ」や、大群のマイワシなど、ダイビングの醍醐味を感じさせる1本でした。2本目のポイントは「御黄金」。ポイント名がいいですネェ。リッチな気持ちになります。その名の通り、リッチで贅沢なポイントでした。素晴らしいソフトコーラル！美人ダイバー3人は竜宮城の乙姫様になりました。マクロ、幼魚、群れ等、何でもござれの1本でした。3本目は再び「沖の根」。大きな伊勢海老がいて少し「よだれ」が出ました。ムラサキウミコチョウは2つ重なって交接中。これも「よだれ」が出ました。

最終日、前夜から福田さんが加わり、4人でダイビング。1本目。「これが伊豆の底ヂカラじゃ～！」というような海！真っ青な空と、透明度が20mを超えるスコーンと抜けた海中。ガイドの「親方」が透明度が良すぎてトビエイは出ないと白板に書いたとたん、出ました、4枚！それになんといっても鰯の大群の乱舞。見渡す限り鰯の群れ又群れ。至福の時間はあっという間に過ぎ、ツアーはいよいよ最後の1本を残すのみとなりました。

「最後だね」といいながら「黄金崎公園ビーチ」へ。のんびり、ゆったり「コケギンポ」を鏡でからかったりしながら楽しみました。数こそ少なかったものの毎回姿を見せてくれたトビエイに感謝です。これでダイビング報告はおしまい。

次はお泊りとガイドでお世話になったＳＤＣの賛助会員でもあるＴＡＴＳＵＭＩさんのご報告。

すごくアットホームです。「親方」も「タケさん」もすごく親しみやすくてあったかい人たちです。勿論ガイドは的確で、安心して潜ることができました。それにＴＡＴＳＵＭＩの「看板娘(？)」はお母さん。かわいくて、料理がうまくて働き者で、あのお母さんがいるならダイビング無しでも又行こうかなという気になります。特筆すべきは「料理」。夕食も朝食もたっぷり贅沢に出ます。新鮮な刺身は勿論、お母さんと「タケさん」の奥様「かずみさん」との息のあった献立の数々。どれを食べてもおいしい。昼食の海鮮丼は名物になっているようで、リクエストの多い一品です。今回は4人のツアーなのでお部屋で夕食を頂きましたが、1人のときはスタッフと一緒に食事をすることもできるそうです。寂しくないですね。「親方」は「賄食」といいましたが、これも捨てがたい味です。

アフターダイブ(私達は缶ビール片手に夕陽を眺めました)やロギングの時間も楽しくて、アッという間にツアーが終わってしまったナというのが本当のところ。又是非参加したいと思います。「安良里」・［ＴＡＴＳＵＭＩ］の力、恐るべし！

最後に安良里「ＴＡＴＳＵＭＩ」へのアクセスを書いておきますね。

電車の方　東京→蓮台寺　又は　東京→三島→修善寺前もって電話をしておけば蓮台寺、修善寺どちらでも迎えに来てくれます。

車の方　東名沼津から1時間半から2時間。

詳細はＴＡＴＳＵＭＩのHPでお確かめ下さい。

参加者　026　良縁寺悦子　　603　氏家　友枝

302　福田　孝子　　172　島尾　愛子

連載 第1回

伊豆・富戸だより
ヨコバマに「生簀」？？？？？

563　大脇　美都子

2007年6月6日。ダイバー友だちから、いきなり、富戸ヨコバマのエグジットロープ横に、生簀を設置する計画がある、との情報が。

定置網にかかった珍しい魚を、伊東市漁協本部が、富戸ダイバーのために生簀を造って、見せてくれるというのです。

これを書いている時点では確定情報ではありません。

それなのに、なぜこの話題かといえば、生簀を造るらしいという情報に対する現地ガイドの皆様の反応です。「生簀に反対！」

なぜ？

生簀があれば、2年前の春夏のように、ゲストに見せるものなんにもいなくて、岩陰の虫みたいなウバウオ一匹で、毎日冷汗かきながらしのいでいく、なんて苦労しなくてよくなるよ？

手軽にマンボウみたいな珍しいの見れるから、お客も増えると思うけど？

そんなんじゃないのでした。

ガイド氏は言います。

富戸の自然を見てもらっているんです。富戸の海は水族館じゃありません。自然というものは、人間の自由にならないものなんです。だからこそ、素晴しい出会いも体験できます。それを知ってもらいたくてぼくらはガイドをしてるんです。生簀は富戸の恥です。

なるほど。で、ゲストの皆様は？

富戸は漁港だからさ〜、今でも漁師さんが網に掛かった深海魚とか、いらんもん放出してくれるじゃない。運良ければそいつら見れることもあるし、捨てられた巨大なマンボウの死体が水底に転がってたりするよね。でも、それって、人間がやる捕獲活動だって自然の一部だからしょうがないんだ。網にかかったいらんもんは、放してやりゃあいいんだよ。

聞けば、富戸港の漁師さんたちさえ反対しているというこの計画、なぜこんなことが？

単なる噂であってほしいものです。

オーワキさん紹介

広報担当：福田　孝子

HPのBBSではおなじみのオーワキさん。そのユニークなトークをぜひ会報にも載せたいという声が大きく、一年の連載をお願いすることになりました。また、オーワキさんの似顔絵は「ＳＤＣ10周年記念パーカー」のデザインでおなじみの今澤さんが引き受けてくださいました。

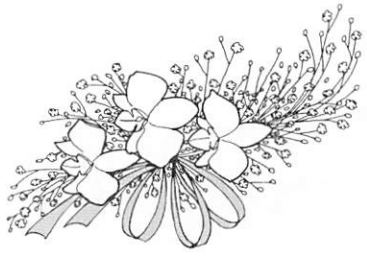
長野在住のオーワキさんですが、ホームグラウンドは伊豆の富戸。オーワキさんにしか書けない「富戸の春夏秋冬」というテーマでお願いしました。

なぜ富戸かというと、オーワキさんは2004年お正月、沖縄でライセンスを取得、現在530本。取得当初は「水中、ひとりで、前へ進めません。よろよろバタバタ、浮上しちゃうか、海底につっこむか。そして！着底したら、タンクに引きずられて果てしなくどこまでも、転がって行ってしまう。あまりの悲惨さに、途方にくれるインストラクター。」という状態だったそうです。それで「お助けマン」を求めてたどり着いたのが富戸のインストラクター、7人目だったそうです。

どうして富戸ばかり(海外も潜ります)で潜るのかというと、器材を預けてしまっていること、良い仲間がいること、自由に撮影させてもらえること(写真もユニーク)、何より富戸の海と気があったからだそうです。

BBSではおしゃべりなオーワキさんですが、お会いするときはいつも黒い服で無口な方です。「好きな色は？」という質問に「きん・ぎん・むらさき・あか・あお・ぴんく」という意外な答えが返ってきました。

そのユニーク・トークを会報でも展開してください。楽しみにしています。



ラヤンラヤン島ツアー

（ツアーNO. 711　2007年5月17日～22日）

リーダー　306　宮本　節子

レポート　508　安積　　信

今回のツアーは東京から3名、関西から6名、計9名の旅でした。

全員は香港で合流し、初日はコタキナバルで一泊です。夕食はホテルからセドコ・コンプレックスに出かけました。屋台風の店で水槽の生きた魚介類を主体に選定し調理を依頼します。会場の中央に設置された舞台では様々なショーが繰り広げられ、それらを見ながらの食事でした。特に刻みニンニクをたっぷりと乗せた蒸し鮑と蟹のチリソースは絶品でした。

翌日は一つのリゾートと軍施設しかない絶海の孤島、ラヤンラヤンでのダイビングの始まりです。1本目はデビルレイ狙いで、ドロップオフから沖へ暫く行った所に群がいました。私には初体験で形状は小型マンタと言った所でしょうか。1群がゆったりと進むのが見えました。2本目と2日目はハンマー狙いでしたがなにも出ず、不発に終わりました。

3日目は前回と同ポイントへの再挑戦です。海底まで2000mはあると言われる暗い海の中、ガイドは我々の遥か下をぐんぐん沖へ向かいます。

暫くするとタンクをカンカーンと叩きました。振り向き我々に手招きします。全員がガイドの周辺に集結しましたが何も見えません。今回も不発かと諦めかけたその時、前方を黒く大きな魚が横切ります。そして又1匹。正しく待望のハンマーヘッドです。何度も失敗して来ただけに感動の一瞬でした。

新会員紹介

2007年7月　No. 34　別冊

紹介内容

①会員番号・氏名　②住所・電話・E-mail
③生年月日　④経験本数　⑤年数　⑥ランク
⑦入会動機　⑧好きなポイント
⑨ダイビング以外の趣味　⑩コメント

①647　本田　厚子(ほんだ　あつこ)
②〒227-0061　横浜市青葉区桜台33-25-506
TEL & FAX 045-984-2453
E-mail : Kouho-honda317@cap.ocn.ne.jp
③1945.3.17　④700
⑤12年　⑥OW

⑦マレーシアの海・カパライリゾートで知り合いになった方にすすめられました。
⑧マレーシア(シパダン、ラヤンラヤン)
⑨お琴、日本画、ドライブ
⑩海が大好き!!温泉大好き!!水の中に入っていると心も和みます。一人でもダイビングにどこにも行っておりましたが、今回SDCに入会させて頂ける事とてもうれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

①648　江藤　征雄(えとう　ゆきお)
②〒194-0212　町田市小山町3451-46
TEL & FAX 042-700-0632
E-mail : yukioeto@jcom.home.ne.jp
③1943.9.3　④91(再開後)　⑤2年(再開後)　⑥MSD

⑦ダイビングを通じ海の好きな多くの方々と交流し、ダイビングのスキルアップを図ると共に地球環境に大きな影響を与える海について知見を高めたいため。
⑧沖縄・ケラマ諸島
⑨ガーデニング、旅行、ハイキング、絵画・音楽(洋楽)、読書
⑩20代の頃7～8年間くらいダイビングを楽しんでいましたが、仕事が忙しくなり35年間ほど中断を余儀なくされました。若い頃沖縄でダイビングをした時の感動が忘れられず、2年ほど前から本格的に再開しました。そして、35年ぶりに沖縄の海に潜りサンゴが大きなダメージを受けている状態を見て愕然とした次第です。あの竜宮城のようなすばらしい海はどこに行ったのか。子供達にすばらしい海を残すためにはどうしたら良いのか、ただ自分の楽しみで潜るだけでなく何か少しでも役に立つことが出来ればと思っております。

①649　小杉　礼子(こすぎ　れいこ)
②〒146-0091　大田区鵜の木3-22-2
TEL & FAX 03-3750-1431
E-mail : aries050403@yahoo.co.jp
③1939.4.3　④100
⑤5年　⑥AOW

⑦友人に誘われ
⑧暖かい見通しの良い海ならどこでも
⑨ゴルフ、ボールダンス
⑩60才過ぎてから始めたもので、日も浅く経験本数も少ないのですが、体の許すかぎり、安全なダイビングを続けて行きたいと思っております。

①650　神鳥　徹也(かみとり　てつや)
②〒411-0846　三島市栄町11-24　エル・フローラ201
TEL 055-972-7190
E-mail : t.kamitori@hy.thh.ne.jp
③1957.12.8　④1081
⑤25年　⑥AOW

⑦カパライの旅先でＳＤＣの会員からの誘いを受けました。
⑧シパダン、石垣島、ガラパゴス
⑨ウォーキング
⑩ダイビングを始めて25年たちます。私の人生では比較的長続きしている趣味です。ダイビングをきっかけとして、より多くの人たちとの親交をふやせればよいなと希望しております。

①651　斉藤　譲一(さいとう　じょういち)
②〒182-0003　調布市若葉町2-11-1
パークスクエア武蔵野912号
TEL & FAX 03-5384-1805
E-mail ： jo3-saito@athena.ocn.ne.jp
③1941.11.20　④50
⑤1年　⑥OW
⑦妻・斉藤よし子が大隅会長より貴会の活動内容をお聞きした事によります。
⑧フィリピン・ドマゲッテイ、アポ島
⑨サッカー、ゴルフ

⑩商社でマニラ、シンガポール、バンコクと計15年アジアで勤務。その間モルディブ、タイ、タヒチ等南の海の素晴らしさに魅せられ、夫婦でシュノーケルばっかりをやっていた。1年前に仕事の関係で行くフィリピンで体験ダイビングに誘われたのがきっかけで海の中に嵌まり込みだしています。

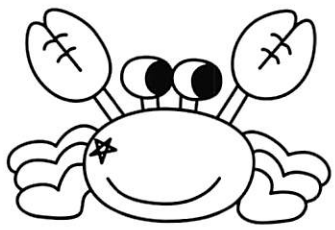
①652　斉藤　よし子(さいとう　よしこ)
②〒182-0003　調布市若葉町2-11-1
パークスクエア武蔵野912号
TEL & FAX 03-5384-1805
E-mail ： saito-445@athena.ocn.ne.jp
③1948.3.28　④49
⑤1年　⑥OW
⑦大隅会長より貴会の活動内容をお聞きしたので
⑧フィリピン・ドマゲッテイ、アポ島
⑨バレーボール、ゴルフ

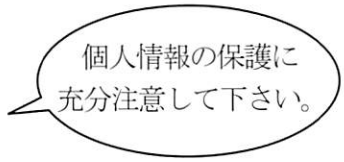
⑩ダイビングを主人とはじめて一年が過ぎました。ダイビング技量が下手、をさておきまして水中撮影に興味があるもので、無謀にも挑戦しています。どうぞよろしくお願いいたします。

①653　吉川　富美子(よしかわ　ふみこ)
②〒108-0075　港区港南4-6-4-1903
TEL 03-3472-1471
E-mail ： y-fumiko@mb5.suisui.ne.jp
③1949.11.27　④292
⑤5年　⑥RED
⑦ダイビング愛好者の方々とのネットワークづくり、ダイビングスキルの上達、安全なダイビング、クラブツアーへの参加。
⑧沖縄(ケラマ諸島)、パラオ、マブール。

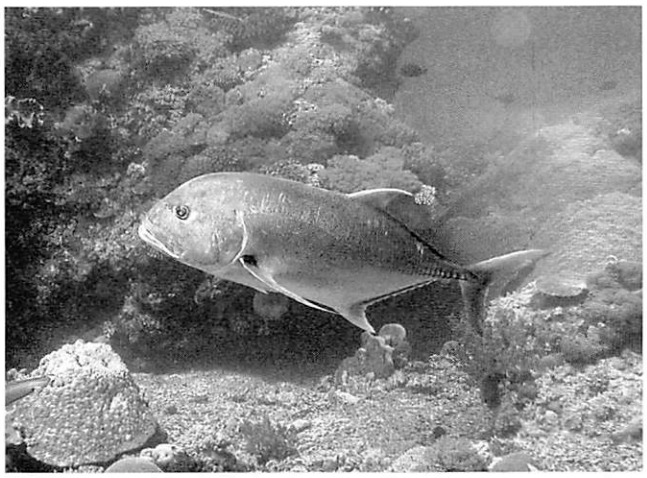
⑨スキー、サイクリング(他アウトドアスポーツ)、茶道(表千家)。
⑩現在途上国の開発を支援する国際機関勤務。ボート、スキーなどアウトドアースポーツ派で、サイクリングで都内、実家のある浦和の田園を週末散策している。茶道は20年以上表千家を楽しむ。徐々に仕事を辞めた後の生き方を模索中です。

①654　田谷　千衣子(たたに　ちえこ)
②〒270-2203　松戸市六高台5-78-704
TEL 080-1023-7575
E-mail ： wanwan1169@u01.gate01.com
③1946.7.16　④41
⑤4年　⑥SD
⑦ダイビングを通し、海の環境問題を勉強したい
⑧モルディブ、パラオ、沖縄
⑨スポーツは何でも好き
⑩これまでは、年に2回程しかダイブできませんでしたが、これからは時間には余裕ができましたので、いろいろな場所で潜ってみたいと思っています。潜降するおり、耳抜きに苦労しております。種々加湿器を付けてみたりし、なるべくバディに迷惑をかけず潜りたいと思っております。宜しくお願いいたします。





ラヤンラヤンの魚影は大変濃く、ドロップオフやリーフの周辺では定番のギンガメとバラクーダの群、ナポレオン、そしてツバメ魚の縦列やホワイトチップなどなどが楽しめます。特に巨大ローニンアジとバッファローは印象に残っており、シパダンの3〜4倍はあろうかと思われる数匹の特大バッファローが悠然と泳ぐ姿は壮観でした。



マジリアイゴ

今回、我々は畳1帖ほどあるペナントを作成し持参しました。ペナントには「Senior Divers Club KANSAI」と大きく書かれています。これをレストランの壁に四六時中掲げ、夕食時には全員がこの下に集まり毎夜宴会を行ないました。日曜の夜、何時ものように食事をしていますとドイツ人と名乗る男性が近づいて来、母国にも似たようなクラブがあり、是非紹介したいので写真を撮らせて欲しいとの申し出です。快く承諾すると、ペナントをバックに1枚、そして我々の食事風景を１枚撮影しました。ＳＤＣの趣旨の一つに、外国人ダイバーとの交流とあったのが思い出されました。

ラヤンラヤンは潜って良し、喋って良し、そして飲んで良し、の本当に楽しいリゾートでありました。

参加者(9名)

406　立木　博信　470　池田　孝雄
480　菅沼　良次　508　安積　　信
528　平野　淑子　535　小林　純子
550　久保　暁美　614　東　千恵子
306　宮本　節子

ハンマー狙い“ラヤンラヤン”ツアー

レポート　614　東　千恵子

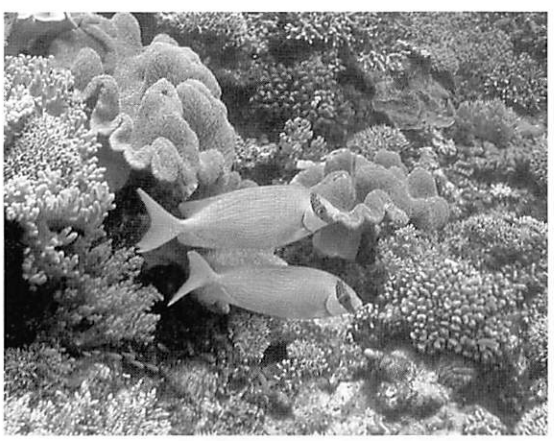
ラヤンラヤン(マレーシア語で鳥・ウミツバメの意)はボルネオ島コタキナバルから北西に約300km(小型プロペラ機で1時間)離れた所にある絶海の孤島で、南シナ海の中心に位置し、長さ7km、幅2kmの環礁の一部に作られた人工の島です。

空港と海軍基地(立ち入り禁止)とリゾート施設だけの小さな島ですが、ラヤンラヤン環礁は2000m級のドロップオフに囲まれているので潮通しが良く、大型の回遊魚が数多く生息していて、特に春頃にはハンマーヘッドの群れが見られる事で有名です。

ダイビングは到着日2本(チェックダイブを兼ねて)、1日3本(2日間)で最終日1本、計9本でした。

ダイビングスタイルは全てドリフトダイブ、ブリーフィングで最大深度40m以内、減圧停止を出さないダイビングをするように厳しく言われます。
ポイントは何ヶ所かありますが、最初の10〜15分はいつもブルーウォーターダイビングでした。

ブルーウォーターダイビングは360°、底なしのブルーの世界(今回は透明度が悪く濁りがありました)を、大物待ちをしたり同じ所を行ったりきたり、何が出るかは分からないスリリングなダイビングです。深いダイビングになるので各自ダイブコンピューターに注意しながら、じっとブルーの世界を見つめ、ガイドのジョンの合図を待ちます。



ロウニンアジ

今回はベストシーズンと言う事で狙い通りハンマー・モブラ・グレイリーフ・トラフザメを見る事が出来ました。その後はリーフに向かって泳ぎ、リーフエッジを流したり、棚に上がって小魚の群れやマクロウォッチをし、エキジットという流れでした。

どこもドロップオフとは一転し、リーフ上は透明度が良く明るい海で、サンゴは荒らされておらず(着底禁止、グローブも禁止)ソフトコーラルも見事でした。

呑和会 第10回「ボーリング大会」

2007年3月10日(土)

世話役　306　宮本　節子

2007年3月10日、15時半より呑和会で第2回目となりました「ボーリング大会」を開催しました。6名が久々の…1年ぶりのボーリングを！

1位から3位までと参加賞の賞品を用意し、ハズレなしで皆さんに頑張っていただこうと考えました。

ワイワイと言いながら2ゲーム続投、昨年も1位だった池田さん、1投目はガーターと思わぬ失態‥でも、さすが最後は優勝でした。皆さんダイビングとは勝手が違うようです！思うようにはなりません。応援者が駆けつけ、ちょっとアドバイスをいただいただけでストライクを出した小山田さん、楽しそうでした。2ゲーム目も終盤に近づくと、結構運動をしたので早くビールを飲もうよ、と言い出しながらも…無事終了しました。女性にはハンディをつけてもらいましたが、結果はあまり変わらなかったようです。

さあ、場所を変え、韓国家庭料理「ふるさと」で懇親会。その場でボーリング大会の表彰を1位池田様、2位宮本、3位菅沼様、おめでとうございま〜す！ボーリング大会には6名の参加でしたが、やはり関西です、懇親会となると12名にもなってしまいました。

いよいよ懇親会の始まり、、、、いい汗をかいたメンバーはビールが待ちきれません。早速、乾杯！！

今回の韓国家庭料理「ふるさと」は二宮社長様のご紹介で、色々とご親切にしていただき、また、二宮様にもお世話をお掛けいたしました。有難うございました。

さあ、どんどん出て来る料理に箸をつけながらももうダイビングの話しが次々と飛び交い…気が早くも来年のツアーの話まで出ました。。。。

また、ツアーに行っておられた方達の話、これから行く人達の話などで盛り上がりました。

また、来年も3回目のボーリング大会が出来るように頑張りたいと思います。

皆様よろしくお願いいたします。

出席者(12名)

181　平山　英子
184　岡本　剛亮
252　上田　満彦
305　宮内　弘人
306　宮本　節子
406　立木　博信
470　池田　孝雄
480　菅沼　良次
508　安積　　信
582　小山田明子
601　冨田　恭子
S35　(株)エアーワールド
　　二宮　脩造

呑和会　第１１回「京料理を味わう」

2007年5月26日(土)

世話役　306　宮本　節子

5月26日、呑和会第11回「京料理を味わう」を緑深い下鴨神社にほど近く、スローフードをテーマした京料理のお店「京旬菜 こう庵」にて、開催しました。場所的に少し遠いかな‥と危惧しましたが、たくさんのメンバーのご参加に支えられました。

落ち着いた雰囲気の中、季節の食材をふんだんに取り入れたお料理を味わいながらの歓談です。心なしか声のトーンが落ちています。やはり、お店の雰囲気がそうさせるのでしょうか。一品ずつ出されるお料理の品々、どれ一つ取ってみても繊細な京の和食の味わいでした。

今回初参加の方、久々に皆様とお会いする方々がおられ、これまた話が弾みます。こうしてお会いできることでまた、ツアーにもご参加願えると信じております。この共通の趣味・共通の話題というものは、年代・性別を超えて素晴しいものがあると今更ながら強く感じさせられます。こんなに多くを時間が足りないくらいに語りあえる、そして語り飽きることがありません。話のさきで落ち着くところはやはりダイビングの話です。

喋る、飲む、食べるを繰り返し、やはり3時間という時があっという間に流れます。まだまだ喋り足りません‥‥！

色々な出来事、クラブツアーやプライベートツアーのこと、そして、インドア、アウトドアの話、いつまでも尽きることがないので‥ここらへんでお開きに、又、続きは次回の会で、、、、！

これからも皆様との交流の場として発展させたいと思います。よろしくご参加下さいます様お願いいたします。

参加者(16名)

002	一ノ瀬博司	181	平山　英子
252	上田　満彦	305	宮内　弘人
306	宮本　節子	406	立木　博信
470	池田　孝雄	480	菅沼　良次
539	鹿子木良子	555	田中　久智
556	田中　宏子	635	木脇　　学
644	門井　久男	645	門井　和子
S35	(株)エアーワールド	二宮　脩造	
S40	ダイビングベル	鈴木　栄	

MD誌「ベストダイビングガイド1位」

GOOD DIVE SHOP　神田真児氏　を祝う

2007年4月2日(月)　関西地区 ： 世話役　406　立木　博信

レポート　306　宮本　節子

真ちゃん、ベストガイド1位おめでとう！！

「マリンダイビング」誌で、今年もベストガイド1位となったGOOD DIVE SHOPの神田真児氏、表彰式に一時帰国されることになり、その合間を縫って関西地区でお祝いをすることになりました。

3月31日に関西地区ではお花見会もあったところなので、そう人数は集まらないでしょう…でも、声だけはかけて見ましょうと言うことだったのですが、さすが、真ちゃんの人柄と言いましょうか、12名も集まることが出来ました。

4月2日(月)17時半より大阪の梅田にて開催しました。

「真児が偉いのではなく、お客様が偉いのです」と言ってくれるところなんかはやはり真児節です！

そして、いつも人を楽しくさせてくれます。ついつい、話しも引き込まれていつの間にか真児節！？

久しぶりにお会いした人、最近お会いした人とそれぞれでしたが、このメンバーには距離を感じさせません。あまりにたくさんのことを話さなければならないので皆でワイワイガヤガヤの状態です。

ショップとしても3年を迎え、もっともっと飛躍していただき、真児さん個人もまた色んな意味で成長し、私達を受け入れて欲しいと思います。

神田真児さんの更なるご活躍とGOOD DIVE SHOPのご発展を心より祈念いたします。

そして、我々シニアダイバーズの良きアドバイザーであり、安全かつ安心ダイビングが出来ますようによろしくお願いいたします。

本当におめでとうございました！

参加者(13名)

GOOD DIVE SHOP　神田　真児

181	平山　英子	252	上田　満彦
306	宮本　節子	406	立木　博信
474	山田智恵美	480	菅沼　良次
508	安積　　信	555	田中　久智
556	田中　宏子	594	辻　　良夫
595	辻　　明子	601	冨田　恭子

関西地区　お　花　見　会

2007年3月31日（土）

世話役　306　宮本　節子

レポート　434　百瀬　由美子

今年1月関西地区主催のアニラオツアーに参加した時、「今度会う時はお花見だね。」の話題に京都大好き人間としてはこれには参加せねばと決心、桜が見ごろになっている事を願いつつ新幹線に乗ったのでした。

散策コース

京阪五条駅：ここが牛若丸と弁慶が出会った五条の大橋のたもとウムフムここかいな。東京人はきょろきょろ、地元人はおしゃべりから出発です。そこから小説「高瀬舟」で有名な高瀬川沿いの桜並木川幅は狭くても水の流れ速く、ごみもなく本当に素敵な場所でした。まだ蕾の固い桜あり、3分咲き・満開とそれぞれありおしゃべりしながらの散策です。そして、京都らしい風情があり京の町家に映える祇園白川の桜並木へとのんびり散策、舞妓さんの本物？偽者？の写真撮影会がそこらでありこれ又目の保養になりました。最後は夕暮れの「建仁寺」の桜へ。

さ～～！これだけ歩いたのだからビールがおいしいぞ～～。時間もよし！これからが本番！と皆様のにこにこ顔・顔・顔…。

今晩のお食事場所、祇園お食事処「今」に向かいました。今人気の町家風のママもお店も素敵な所でお食事もおいしく、話題は来年4月開催予定の「トゥバタハクルージング8日間」船貸切で15名以上集めよう！！と皆さん張り切っておりました。

2次会は「今」の二階でのカラオケ大会まずは、安積さん十八番の「ハワイアン・ウエディング・ソング」からそれをかわきりに皆様の楽しい歌声は続くのであった。

参加者（12名）

434　百瀬由美子
002　一ノ瀬博司
252　上田　満彦
305　宮内　弘人
306　宮本　節子
406　立木　博信
407　立木　靖子
470　池田　孝雄
480　菅沼　良次
508　安積　　信
622　三吉　清忠
S35　(株)エアーワールド
　　二宮　脩造

関西地区　「お花見会」に参加

レポート　622　三吉　清忠

ＳＤＣ関西地区の主催で、3月31日に京都でお花見をしました。

散策コースは京阪五条駅集合で木屋町五条～木屋町四条～祇園白川～建仁寺境内でした。

今年の桜は早咲きとテレビで報道されていたが全体的にまだ咲きはじめの様である。

午後4時の集合時間より20分早めに到達し、全員の集まりを待ちました。待ち時間に健康の話となり、足の関節炎や腰痛を訴える人が多く、私も仲間が多いことで、少し安心しました。ダイビングの時は、重力の影響が無く、皆さん快適との事です。

今回、私の参加の動機は2時間の散策が足腰を鍛え、健康に良いのではないかとの思いからです。

土曜でもあり、人手が多く、お花見の1時間後には、旅行社の社長が行方不明となり、その話題で盛り上がりました。

道中には、若い舞妓さんが2、3人出没し、外人を含め大勢の人が写真をとり、桜を背景に華やいだ雰囲気になります。

参加の皆さんは桜見物より、2時間あまりの散策後のビールを楽しみにしている様子でした。

八坂神社の近くの高級料亭“今”で京料理をいただき、その後、店の2階でカラオケを楽しみました。

ＳＤＣの皆様方は古い歌が好きで、時々カラオケファイルに登録されてない歌を注文していました。

歌は途切れることなく続き、デュエット曲も数多くこなし、祇園の夜を楽しく過ごしました。

関東地区お花見

レポート　007　大西　亀美代

記録的な気温の乱れで日取りの決まらなかった関東地区のお花見、幸手在住斎藤さんのタイムリーな開花情報で3月30日決行されました。

心配された雨も集合時には青空が覗き今更ながら参加者の強運に脱帽。

車で駆けつけた祖父尼さん、齋藤さん、リーダー石田ご夫妻ほか総勢？名。3台の車で先ずはイチゴ狩り。大騒ぎしながらお腹いっぱい箱いっぱい、イチゴ詰め込みいざお花見に。

東武線幸手駅から程近い？知る人ぞ知る桜の名所権現堂。堤に延々と続くピンクの桜木、道筋には屋台が軒を並べ堤の下には見渡す限りの菜の花畑、ちょっとレトロな情景でした。

ほどよい桜の下に陣を張り手ぶら参加の私の前にも並ぶご馳走、冷えたビールに熱々のお味噌汁。有難く飲んで食べてお喋りのさなか、尺八吹きながら通りかかつたリック姿のおじさん。好奇心満々の我ら早速声をかけ尺八入りの賑やかな宴会となりました。

五分咲き桜も熱気にあおられ満開に？見上げれば青空に薄雲のようなピンクの花々、とてもきれいでした。

お次は温泉その名も嬉しい極楽湯。極楽々々と汗を流しぴかぴか顔でまたもや始まるＳＤＣお決まりの二次会。お世話になった方々と名残惜しみつつ駅でお別れ、真っ赤に染まった夕空を車窓から眺めながら帰途につきました。

目いっぱい遊んだ一日で、**海も良いけど花見もいいな！**

参加者は大隅(006)、大西(007)、坂東(018)、石田(056)、石田(057)、森重(188)、竹内(450)、塙(486)、租父尼(619)、斉藤(630)さんの10名です。

「真っ青な快気祝い」

フリッパーの会・世話役　277　堀田恭正

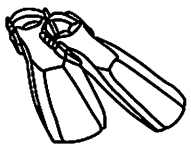
去る4月29日、前世話役の364百野さんからの発案で、昨年暮、足に大怪我された「会」の名コーチ・085鈴木清子さんの快気祝いを行いました。4月11日の辰巳練習会には昨年と変わらぬ元気一杯の勇姿を見せてくれたので参加者一同安心したのですが、ここは一つあらためて快気を祝い、併せて会員の親睦を図ろうとの趣旨で、参加希望者24名が038川上さんのお店に集まりました。ドリンク・おつまみ・料理など持ち込み大歓迎、歌い放題、踊り放題という何時ものパターンで始まりました。

さて、何が一体「真っ青」だったのでしょうか。

541関谷さん(加山雄三の歌を歌わせたらこの人の右に出るものが無い)の名司会進行でスタート、主賓の鈴木清子さんが(黒木 瞳)も「真っ青」という、あでやかな容姿で全快の挨拶をされ、今日の祝いへの謝意と今年のシゴキ方について抱負を語られました。百野さんは黒の前掛け姿がピシッと決まって凛々しく、ミッシェランの★★★★★レストランシェフも「真っ青」という包丁さばきで料理を作られ、一同舌鼓を打ちました。

また、先祖代々伝わるという糠床で漬けた、026良縁寺さんの糠づけは、和食の達人(道場六三郎)も「真っ青」という漬かり具合で、私は家内の参考にと、2〜3切れラップに包み密かにポケットに忍ばせました。大根醤油漬け、炊き込みご飯など、どれも(六三郎さん)「真っ青」という味加減で驚きました。宴たけなわとなり、次々とカラオケで歌が出始める頃、鈴木清子さんがマイクを握り、『りんご追分』を唄い始めました。♪りんごの花びらが〜で始まり、♪津軽娘が〜、あたりで場はしーんとし、(美空ひばり)も「真っ青」という出来栄えでした。398蔵口さんは本場仕込みのフランス語でシャンソンを披露、(イブ・モンタン)も「真っ青」な節回しで大人のムードを演出されました。場は更に盛り上がり、593浅野さんがリズムに乗って(松健サンバ)も「真っ青」という見事な踊りを披露、542瀧さんも加わり踊りの輪が広がりました。030杉本技術顧問はじめ皆さんそれぞれプロも「真っ青」という持ち歌や踊りをご披露、飲んで食べて唄ってと夕方5時から始まった会は、あっという間にもう8時、(これだけやれば病気も怪我も吹き飛ぶワイ)と思いながら、ここで懐かしの名曲「誰か故郷を思わざる」のメロディーが流れると全員立ち上がり肩を組んでの合唱となりました。その後、私はなんとかの一つ覚えのソーラン節で勝負、横に並んだ民謡の合いの手の名手(と思う)640山崎さんの見事な手拍子と合いの手で♪そーらんそーらん・ハイハイと(北島サブちゃん)を「真っ青」にしました(の筈です)。更に宴は続き、9時、(フリッパー会歌)の「青い山脈」の合唱時間となり、また全員立ち上がって肩を組みました。♪若く明るい歌声に、雪崩も消える花も咲く‥」皆さんの元気な歌声が店内に流れました。年齢もほぼ近く(若手も少しは居るにしても)、少年期・青春期・壮年期と体験もほぼ共有する仲間と肩を組み歌を唄う時、良い仲間、いいお店、良い料理、良い酒、良い雰囲気を元気で楽しめる幸せを強く感じます。出会いがあって、仲間ができて、海を楽しむという共通の趣味がある。(会歌)「青い山脈」を肩を組んで大合唱する時、いつもながら、過ぎ去った沢山の思い出が脳裏をよぎり、胸が熱くなるのは私だけの感傷でしょうか。(大体、60才を過ぎて皆で肩を組んで歌を唄うというのはＳＤＣに入ってからの事です)

鈴木さんの快気祝いは、このように各方面に「真っ青」な旋風を巻き起こしながら盛会裡に終了しました。今回の祝宴の開催にあたり、遠路参集された方々、飲み物・食物など持ち込みいただいた方々、2時半から厨房に入って準備いただいた方々、開宴中テーブル周りなど何かと気遣いしていただいた方々、お店を使わせていただいた川上さん、鈴木清子さんも喜んでおられました。改めてお礼申し上げます。有難うございました。



追記

フリッパーの会練習予定

(場所・東京辰巳国際水泳競技場・14時30分集合)

7月9日(月)　メインプール　・水深2m

8月1日(水)　メインプール　・水深2m

9月10日(月)　飛び込みプール　・水深5m

皆さんの参加をお待ちします。(問い合わせなどメール・FAXで　277堀田まで)　　以　上

筑波山ハイキング

リーダー　056　石田　邦明　　レポート　018　坂東　正朗

9回目になるハイキングの会、山行も今回は関東に住んでいる人なら誰でも知っている名山、日本百名山に選定。筑波山には一度行きたいと思っていた。つくばエクスプレスが開業してから登山者が急増しているようだ。当日は行きの電車に乗って間もなく外は大雨が降り出し少々心配されたがつくば駅に到着する頃には雨も上がり一安心する。集合場所の筑波山神社前で参加者がケーブル組と徒歩組に分かれて頂上目指して出発する。案内所の話では先程まで凄い雨が降っていたとか、足元が悪いので気をつけて行かなければ、霧も濃くゆっくり登り始める。天気予報は回復の兆しのようだが、途中にある霊水・御海の水を頂きながら霧の中、約1時間30分で御幸ヶ原に到着、小休止して男体山へ行く予定だが霧が濃く行っても何も見えないと思い女体山へ直行することに、途中の茶屋で先行していた組と合流して昼食にする。その頃から霧が晴れ日差しが戻ると間もなく景色が一変した。標高は877mと低いが女体山山頂から見る関東平野の絶景は見事である。帰路もロープウェイ組・徒歩組に分かれて下山することになる。筑波山には弁慶の七戻り・ガマ石・立身石・出船入船などなど自然の傑作！奇岩怪石・霊水など多くあるのには驚きだ、一見の価値がある。乗り物組には悪いが凄く得した気分だ！雨上がりの下山でしたが無事に終了、往複徒歩の場合休憩も含め約5時間弱のハイキングを楽しみ心地良い汗をかきながら最終目的地・つくばの湯で全員合流する。先ほど登ったばかりの筑波山を眺めながら露天風呂を楽しむ。その後のビールの美味しいこと、外に目をやると今まで晴れていたのに突然の雷雨に驚かされたが帰りは又晴れ間が、今回のハイキングは雨上がりの条件もあり自身の体調に合わせて徒歩や乗り物など自分の判断でしたが山頂での食事、入浴などでは和気あいあい楽しみました。このようなハイキングも体調に自信の無い方でも参加できるので面白いと思いました。

参加者
005　大隅　楠夫
006　大隅　照子
007　大西亀美代
056　石田　邦明
057　石田　洋子
450　竹内　千草
542　瀧　　正明
544　海老原　新
545　海老原昭子
018　坂東　正朗

アウトドアーを楽しむ会・活動報告

197　宇留賀　達雄

4月～6月に催行した「アウトドアーを楽しむ会」はトレッキング等の企画が無く、4月2日～3日、栃木県の「ベルセルバカントリークラブ」、それに6月7日～8日、「きぬがわ高原カントリークラブ」それぞれで行われたゴルフコンペでした。10人～11人の参加で纏まりも良くスコアーは二の次で楽しみました。

ゴルフを終わっての楽しい語らい

トレッキングに関しては、7月には貸切のサロンバスを利用して、蓼科高原車山・七島八島にニッコウキスゲを愛で、そして乗鞍岳登頂のツアーを1泊2日のスケジュールで行います。

その他1泊を基本に簡単な里山ハイクを幾つか計画したいと思っております。「アウトドアーを楽しむ会」に入会希望の方は、アウトドアーの項目(ハイキング、スキー、ゴルフ等)をお知らせの上お申し込みください。

◎中部地区親睦合同企画のお知らせ

日進市にお住まいの山本伸子さんのお骨折りで、中部地区の会員との交流会を兼ね、愛知県東部の小原村と足助町を貸切バスで行き、11月に咲くという珍しい四季桜と紅葉の絶景ポイントを愛でます。

夜は笹戸温泉に宿を取り、中部地区との交流を兼ね楽しい宴を張ります。

翌日は中央自動車道を通って木曽路の馬籠宿や伊那谷の景勝地、寝覚ノ床を訪ねます。

今回のツアーは山歩きはありません。香嵐渓や馬籠宿を4～5km散策いたします。「アウトドアーを楽しむ会」の会員でなくとも中部地区との交流を望まれる方歓迎です。20名にて締切ります。

中部地区親睦合同企画に関連して

240　山本　伸子

中部地区の会員の皆さんへ

中部地区での開催なのでこの機会をほかの地域の会員さんとの交流の場に出来たらと思いお誘いします。

四季桜の集まりの前に海で撮られた写真やビデオ、または情報交換の時間を作りたいと思うのですがいかがですか？

少しでも興味のある方は下記まで連絡いただけるとうれしいです。開催の日時、時間はお返事があればご都合をうかがってから決めたいと思っています。

E-mail ： nobuko-yama@be.to
TEL & FAX ： 0561-72-7259

掲示板

ＳＤＣ全国の集い

2008年の新年会と総会・懇親会のお知らせです。
是非カレンダーにスケジュールを書き込んで下さい。

2008年新年会

日時 ： 2008年1月20日(日)　12:00～16:00
会場 ： ホテルアジュール竹芝
　　港区海岸1-11-2
　　竹芝桟橋近くの海に面した会場です。
会費 ： 1万円

2008年総会・懇親会

ＳＤＣ創立15周年記念の会を計画します。
日　： 2008年6月1日(日)
会場 ： 恵比寿イーストギャラリー

＊2008年新年会の日程に関して、公表が遅くなり申し訳ありませんでした。特にツアーを企画するリーダーの方には大変ご迷惑をお掛けしました。年に2回の新年会および総会・懇親会は全国から会員が一同に集まる貴重な機会です。日程はほぼ1年前に決定し、決まり次第お知らせいたします。ツアー計画など、今後も引き続き日程調整の配慮をお願いいたします。

第12回「散骨を語る会」

2007年4月25日（水）

618　河原　智怡

初めて出席をさせて戴くのに出遅れ、新橋の駅近くなのに、場所間違えて、とんでもない所を探して遅刻してしまいました。会の途中から入ったので凄くあがりました。

金井さんから直ぐ自己紹介と言われ、散骨を語る会の感想、私は次男夫婦、友人達、ＳＤＣの皆さん達と潜り始め益々海が好きになっています。次男夫婦と、この世を立つ時は綺麗な海で静かに眠りたいと、お酒を飲みながら話しています。(~_~)

これからも、ＳＤＣの皆達と共に末長くお付き合いし、色々日本、海外の海をダイビングして歩きたいと思っています。

今回はスライド、ビデオショーをもう少し見られたら、良かった、と思っています。

金井達雄さんの説明では、「散骨友の会」は「散骨を語る会」より具体的に自分達で散骨の実施を考える会だそうです。誰しもが私達の年齢に成りますと先の事を考えておかなければなりません。

金井達雄さんの説明では、「散骨友の会」は「散骨を語る会」より具体的に自分達で散骨の実施を考える会だそうです。誰しもが私達の年齢に成りますと先の事を考えておかなければなりません。

私自身も綺麗な海に散骨して頂いたら最高です。それまで国内、海外と色々な所をダイビングして探しておきましょう。これからもダイビング、国内、外国の旅行、お稽古事、友人、身内と楽しんで仲良く行きましょう。ぐ　)))彡(~o~)

・・

参加を楽しみにしていた関川名誉会長は風邪を引いてしまい残念ながら欠席されました。大御所が居なくて寂しかったですよ。

この会に入ったのは自分の骨を撒いてもらうためではなく『皆さんのを撒くために…』と元気そのものの関川さん！参加者はそんな関川さんを目標に掲げてますのでなかなか逝きません。そんな訳で肝心の骨が手に入らないのが実情であります。

ヴィンテージな会で米寿のお祝いを計画していますが、次回散骨を語る会でもクリスマス、忘年会、米寿の会を兼ねてワイワイやりたいと考えています。
ですから関川さん、這ってでも来て下さいね(笑)。
＜世話役より＞

005　大隅　楠夫
006　大隅　照子
(散骨を語る会世話役)
007　大西亀美代
049　関根　一男
121　河村喜美江
128　平野　昌子
166　島田美世子
188　森重美智子
378　西村　麻美
390　金井　達雄
(散骨友の会世話役)
469　武田美砂子
453　松山　順子
537　奥原　研二
618　河原　智怡

「ジャズライブを楽しむ会」

637　川住　規夫

5月13日に第19回「ジャズライブを楽しむ会」が催行されましたが、私は前回の丸の内「コットン・クラブ」に続き2回目の参加です。今回は場所を横浜に移して、赤煉瓦倉庫にある「モーションブルー・ヨコハマ」で行なわれました。ところで余談ですが、会の名前は『ジャズライブを楽しむ会』だったんですね。『ジャズライフを楽しむ会』だとずっと思っていました。千野さん、ごめんなさい。

さて、今回も千野さんの粋な計らいでライブの前に横浜駅近くのシーバス乗り場に集合、海からベイブリッジやMM21を見ながら山下公園へと行きました。そして元町や中華街を散策。途中「お行儀が悪い」と言いながらも、肉まんを買って食べながら歩いたり、千野さんお勧めの「ホテル・ニューグランド」のラウンジで休憩をしたり。ところがそのホテルで事件が。なんとボーイがわがＳＤＣの美女たちに見とれて手が震え、千野さんの中身の入ったビール瓶を落としてコップを割り、ビールを撒き散らしてしまったのです。散々な目にあいましたが、何人かはただで2杯目を楽しんだのは言うまでもありません。その後、再び山下公園を抜けて赤煉瓦倉庫へ。直行組と合流して、割り勘ということで上戸と下戸に分かれ着席。

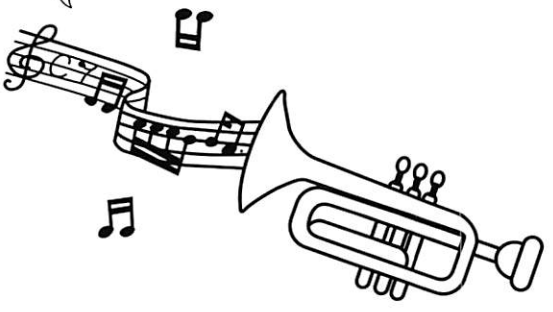
やがてライブが始まりました。今回はChiaの2枚目のアルバム『星からの贈り物』発売記念とした『つづらのあつし with Chia』ライブツアーでした。前回が黒人4人組グループ『ドリフターズ』のボーカル主体だったのに対して、今回のボーカルは女性歌手Chiaでしたが、演奏主体のライブだったように思いました。バンドリーダーはアルト・ソプラノ・テナー・バリトンなど都会的で洗練されたサウンドのサックス奏者でしたが、そのChia、いつものことということでしたが背中に羽根が生えていて『ちょっと太めのティンカーベル』という感じで歌っていましたが、あまり印象に残っていません。それよりもサックス・ピアノ・ギター・ベース・ドラムスそれぞれのソロのパートが良かった。特にベースのソロはちょっと感激。ベースでこんなことまでできるんだ！と思いました。そんな訳でボーカルの印象が弱く、そう感じたのかもしれません。ジャズは、というかそれぞれのジャンルの音楽についてよくはわかりませんが、音楽を聞くのは好きで、特にライブで聞くというのはいいものです。これからも都合を付けて参加したいと思います。千野さん、ありがとうございました。

右列一番前が川住さん

参加者：

005　大隅　楠夫	006　大隅　照子
007　大西亀美代	038　川上　秋子
146　佐竹　綾子	370　千野　正勝(世話人)
417　豊田　映子	528　平野　淑子
544　海老原　新	578　中澤八重子
593　浅野　弘富	612　吉田　光子
637　川住　規夫	

本同好会は2～3ヶ月に1度開催しています。
興味のある方は、世話人・千野正勝まで
お問い合せ下さい。



第1回皇居ウオーキング&ジョギングの会

542　瀧　正明

「私は散歩したい～」「私は歩きたい～」「私は走りたい～」それぞれ別のウイングを持ちながらも一緒に楽しめないものだろうか？

こんな想いから取り合えず、皇居ウオーキング&ジョギングの会と銘うって、5月30日、2時30分に降りしきる雨の中、18名の皆様が1名のキャンセルもなく集いました。

雨にもめげず走る方あり、少しでも走ろうとする方あり、散策する方あり、一応5:00集合と決めていたのに、一緒に走りながら「銭湯、先にいくよ」と語る人。何も語らず銭湯に行く人。タクシー乗ったのでは？という人。真面目に走る人。まあ～皆さん思いっきり自分のウイングを広げられた様で何よりでした(^^♪

銭湯はまるで内風呂の様に可愛くて、ワイワイガヤガヤ～。番台のお母さんも可愛くて、「皆さん、雨の中凄いですね」「あら、ダイビングなさるの？お若いですねぇ」と喜んで(？)くれました。

懇親会は18名で間仕切り、ワンテーブル。まさに銭湯の延長戦～皆さん、他の方が2時間どんな時を過ごしていたんだろう(？)という興味と自分の過ごした時間とのすり合わせのためか、人の話を注目しながら聞いていたのが、とても印象的でした。進行係の自然さ、上手さもあって、「この会をどうしたいですか？」の問いには意見が出る、出る(笑)

「第一名前はこれでいいの?」「お江戸散策をしたい」「スキルアップしたい」「山中湖一泊をしたい」「取り合えず晴れの時もう一度」「この会ならば車イスになっても参加出来そう」実にたくさんのご意見があり、賑やかなひと時でした。いつもは海の話へ移行するのに珍しく3時間以上の大半を別話題で盛り上がり、どうしたんでしょうか？

2月18日のこれもやはり大雨の日～ＳＤＣの会員4名で東京マラソンのボランティアという事で7時間、銀座で沿道整理に立ちました。

「自分もこの中で走ってみたい！」何故かスイッチが入ってしまいました。

まだまだ、1年もある～。今、来年の東京マラソンに向けてのトレーニングを始めてしまった自分がいます(笑)。

抽選に当たる事が第一関門なのですが、(今年は10万人、来年は20万人の応募が予測されています)突破できたら、胸にはＳＤＣのロゴを入れたシャツを作り、走るぞ！でもその前に、「散骨を語る会」には入っておいた方がいいかなぁ～。

第二回も散策したり、ウオーキングしたり、ジョギングしたりと思っています。気軽に遊びにいらして下さい、おもちゃ箱ですから(^^♪。

最後に、ちょっぴり真面目な話～「走り込み」は全てのスポーツに通ずる基本だと思います。ダイビングにも必ずやプラスになる筈です。少しでも散歩などされる時に取り入れて頂けたら幸いです。

参加者

005　大隅　楠夫	006　大隅　照子	007　大西亀美代
018　坂東　正朗	056　石田　邦明	057　石田　洋子
128　平野　昌子	166　島田美世子	357　佐藤　道子
450　竹内　千草	486　塙　恵美子	514　安部　智枝
537　奥原　研二	542　瀧　正明	593　浅野　弘富
626　小澤　康弘	627　小澤ユリ子	637　川住　規夫

傘差しながらジョギング

第2回水中映像を楽しむ会

005　大隅　楠夫

3月31日、「第2回水中映像を楽しむ会」が行われました。今回の世話人・高木忠雄さんのお骨折りで、南青山のNHK文化センターの会場を借りる事ができました。参加者は会員11名と見学者6名です。

銀縁写真のスライド、デジカメ写真のスライドショー、ビデオ作品など9名の会員の作品が上映され、感想が述べられ、あっという間の2時間余りでした。

終了後近くの中国酒家にて懇親会。新しい会報企画の話題などでここでも盛り上がりました。

当日の上映作品

1. スライドショー：
   - 062　狩野　幸繁(シパダン、パラオ)
   - 423　村上　　信(シパダン、タオ島)
   - 568　大澤　一夫(座間味)
   - 006　大隅　照子(7回目のリロアン)
   - 213　今澤　恵子(ロロアタ)
   - 302　福田　孝子(モルディブクルーズ)
   - 390　金井　達雄(マブール&シパダン)
2. ビデオ：
   - 472　高木　忠雄(ランギロアの想い出)
   - 005　大隅　楠夫(紅海ダイブクルーズ)

その他の参加者：095 加藤　初弘　457 児島慎之助
128 平野　昌子　166 島田美世子　563 大脇美都子
486 塙　恵美子　544 海老原　新
652 斉藤よし子(本会の後ＳＤＣ入会)

＊この会は年2回の開催を予定しています。
会は写真・ビデオ作品を発表して上達を目指す人の為の会です。興味のある方は世話役までお問合せ下さい。また映像に興味がある方の見学も、会場の許せる範囲で歓迎します。お問合せ下さい。

世話役：
005 大隅　楠夫、390 金井　達雄、449 大石　和明

ヒヤリハット例

魚に襲われる話

海の生物の中で一般に恐れられているサメやウミヘビにダイバーが水中で襲われた例を私は耳にしたことがありません。怖そうなウツボに関してもあまり聞いたことがありません。1つだけ私の知り合いのダイバーが手をかみつかれて何針か縫ったことがあります。ウツボがいる穴に気付かず手をついてしまいパニックなったウツボに噛み付かれたようです。通常一見怖そうな魚達もダイバーを避けているようです。

一方、自分より何十倍か大きなダイバーを攻撃する魚がいます。スズメダイやクマノミに突っつかれた事のあるダイバーは多いと思います。あの小さなスズメダイでも勇敢に自分の世界を守ろうとします。

特に気をつけたいのは繁殖期の魚です。種の保存のために必死となっており攻撃的です。中でもダイバーに恐れられているのはゴマモンガラです。貝やサンゴをかみ砕く強力な歯の持ち主でフィンをかじり取られたとの話を聞いたことがあります。

先日ゴマモンガラに頬を突っつかれた人がいました。後から何か突っつくので振り返ったら頬を攻撃されたとのことです。一瞬パニック状態になりレギュレターをはずしてしまったそうです。その人はベテランだったので落ち着きを取り戻すことができました。そうと知らずにゴマモンガラの縄張りに入ってしまったようです。

以前まるで犬か猫を可愛がるようにゴマモンガラに手を差し出して近付いてゆくダイバーを見てびっくりしたことがあります。幸い向こうが避けて行ったので問題は生じませんでした。彼らの繁殖期であれば大変なことになったかも知れません。

我々ダイバーは海の生物達にとっては異星人のようなものです。彼らはペット動物ではありません。厳しい生存競争を生きている彼らの生活をできるだけ壊さないように注意して観察したいものです。

(005　大隅楠夫　記)

アンケート結果

総会・新年会の案内でお願いしたアンケートの結果の報告です。222名の会員から回答を頂きました。

2006年1年間の活動に関してお聞きしましたが、過去のＳＤＣ活動の参加経験から答えられた会員も多く、設問が多すぎたためかと思っています。

このアンケートにより、会員のＳＤＣ活動への参加の傾向がある程度分りましたので報告します。

1. ダイビング経験本数

500本以上が52名、そのうち11名は1000本以上、更に2名は3000本以上でした。回答者の23%が500本以上のベテランダイバーと言うことになります。

2. ダイビング活動

主にＳＤＣ公認ツアー	24%
ＳＤＣ公認ツアーとＳＤＣ個人ツアーが主	39%
ＳＤＣ個人ツアーが主	11%
その他	26%

仕事の関係で個人で活動されているあるいは2006年以降に入会され参加の機会が少ない会員などが多いと思われます。

以上の結果から、ＳＤＣ公認ツアーおよびＳＤＣ個人ツアーにバランスよく参加している会員が一番多い事が分かります。またＳＤＣ個人ツアーのみ参加と言う会員を含め、ＳＤＣ個人ツアーが活発に行われている事が分かりました。

今後のＳＤＣのダイビング活動を考える上で参考となりました。アンケートにご協力ありがとうございました。

(005　大隅楠夫)

関西地区懇親会ご案内

日時：　11月18日(日)　正午より
　　一次会　正午より3時間
　　二次会　15時半より約1時間半
場所：　三井アーバンホテル大阪
会費：　一次会、二次会あわせて　1万円

早目にスケジュール調整をしていただき、多数のご参加お待ちいたしております。
他地区からのご参加もお待ち申し上げます。

掲示板

関川名誉会長の米寿を祝う会

関川清名誉会長が今年12月でめでたく88歳になられます。

関川さんは2代目会長として会の発展・充実に長年尽力され、現在の組織だったＳＤＣを築き上げられた、云わば中興の祖であられます。

最近でこそ目を患われたりしダイビングから遠ざかっておられる様ですが、益々お元気で我々の鑑と仰ぐ方です。

そこで、「関川名誉会長の米寿を祝う会」をヴィンテージな会とその有志を発起人として開催したいと思います。

関川さんと長年お付き合いのある方は勿論、最近の会員も大歓迎！奮ってご参加ください。

詳細はまだ煮詰まっておりませんが概要は以下の通りです。

記

日　　時：9月12日(水)　17時～20時
場　　所：恵比寿EAST GALLERY　5階
会　　費：8,800円
申　　込：宇留賀　達雄
申込方法：メール又は携帯電話
　　urg529@jcom.home.ne.jp
　　TEL：090-3109-8221
締　　切：8月末日又は50名に達し次第。
主　　催：ヴィンテージな会&有志

以上

◎ヴィンテージな会からのお知らせ

暫く「ヴィンテージな会」を開催しておりません。会報でもお知らせした通り、年4回の定期開催を止め、特段の行事の時の開催といたしたいと思っております。

貴重な交流の場である「ヴィンテージな会」をもっと頻度をあげて開催して欲しいとの要望もあり、上記関川さんの「米寿を祝う会」などの特段の行事を見つけ開催したいと思っております。

関川さんの88才の他、内山数子さんが益々お元気でダイビングは勿論、スキー・水泳のインストラクター&指導員としてご活躍です。

本人に確認の上、内山さんの「喜寿を祝う会」も開催しなくてはと考えております。

SDCダイビングポイント情報:24

パフアニューギニア・マダン(2)

(ツアーNO. 706)

1)行程：2007年3月10日(土)～17日(土)の8日間
ダイビング可能日は5日間　参加者：16名

2)アクセス：PGニューギニア航空利用　POM乗換
成田空港より週1便、毎週土曜日に運行
機内預け荷物は限度20kg迄であるが、ダイバーに限り35kgまで可能、但し1個が25kgを超えると2個に分けるよう指示がある。空路約6時間半、時差+1時間、入国には現在ビザが必要。
ビザ＝現地のPOM空港到着時に取得の場合、パスポートと帰りの航空券と取得料が36ドル又は100キナで写真は不要。お釣りの出ないようにドルを持参、日本円での取扱いなし。出発前に日本で取得のときはPNG大使館へ詳細を照会(03-3454-7801)後、出向く。パスポートと写真(5×5cm)1枚と取扱旅行社の渡航証明と申請書と取得料が2千円必要。
往路＝成田空港 PX-055　午後9時発、翌日午前4時半にPOM空港着、ビザの取得に約2時間、超遅い。空港近くのホテルへ車で朝食休憩時間調整。POM空港発、午前9時半のPX-124でマダンへ。空路約1時間、マダン着は午前10時半。
復路＝マダン発午前7時のPX-125でPOMへ、POM着は午前8時。車で空港近くのホテルへ朝食、成田搭乗便まで時間があるため、希望者は市内車窓観光へ。
POM発午後2時半のPX-054で帰国。成田空港午後8時着解散。一部の方は帰宅便なく宿泊。

3)リゾート：マダンリゾート　部屋数は100室。
エクゼクティブルーム使用、ベッドルームと応接間がある広い部屋。エアコン・冷蔵庫・バスタブ・温水シャワー・湯沸し・珈琲セット・ドライヤー等全て揃ったベランダ付の快適な部屋で、フロントとダイブショップ、船乗り場にも近く便利。
電源のコンセントはハの字型のOタイプ。
蚊は少なく虫除けスプレーで充分、部屋は網戸完備、部屋に殺虫スプレーあり、現在マラリアの心配なし。

4)食事：可能な限り食事付
朝食　卵料理・トースト・ジュース・珈琲・牛乳・紅茶・果物、ウェーターが運んでくれる。
昼食　1ダイブ又は2ダイブ終了後に船の上でハンバーグ弁当にミネラルウォーター珈琲紅茶
夕食　メインレストランでバイキング・和食レストラン・リゾートの外で中華料理のコースを日替わりで、いずれも味付け良好。
飲用の水は朝食のレストラン前にタンクがありペットボトルで部屋へ持ち帰るが、お腹の弱い方は徒歩5分程の町のスーパーでミネラルウォーター購入がお勧め。ビール1ケース約60キナ程度、但しアルコールの販売は月～金の午後4時頃迄。
マダンリゾート：http://www.png-japan.co.jp/

5)ダイビング：5日間　10ダイブ付
初日にCカード提示、免責同意書を記入。
チーフガイドは山本ヤヨイさん、現地ガイド2名に手伝いのスタッフ4名がフォローしてくれる。
ダイビングは16名を6人×2と4人×1の3グループ、A～Cに分け、船は15名ほど乗れるダイブ専用船に10名、同程度の観光用のカタマランに6名の2艇を貸切り贅沢なダイビング。タンクはアルミの8ℓ～12ℓを各自の好みで指定、ウェイトはポンド、ショップはニューギニア・ダイブ・アドベンチャー。

6)海：水温28～29℃、透視度10～30m、気温30～32℃、雨季の終わりで夜間は凄いスコールがあるが日が出ると不思議と晴れる。海中は今回大当たり、マダン5大ポイントのマジック・セック・ラスのパッセージとバラクーダポイント・プラネットロックは潜る度にバラクーダ・ギンガメ・イエローテール・マダラタルミ等の群れが入り混じり大物の海マダンを堪能。特にバラクーダポイントの大群は凄い眺めで、またプラネットロックでは幸運な10名がハンマーヘッドに遭遇し、マダンには居ないと言われているボロカサゴまで出現。時々強い流れがあり中上級者向けのダイブで2名が苦労していましたがバディがフォロー、良い経験をしました。

7)費用：旅行社支払　(株)ワールドツアープランナーズ
233,960円 可能な限り食事と10ボートダイブ付
(燃料サーチチャージ　22,300円、PNGの空港税・空港使用料・出国税等4,620円　成田空港使用料2,040円　海外旅行傷害保険料5,000円を含む)
現地支払＝ダイブ終了パーティ費用及びダイブ関係者へお礼＝@40キナ、オプションのマダン村へ観光、シンシン等で約4時間＝@120キナ、
POM市内車窓観光＝@20キナ (1キナ＝約42円)
総費用はリゾート精算を含め約25万円でした。

(287　石岡弘至　記)

SDCツアー計画一覧表I
(2007年7月～2007年12月)

No	ポイント名	日程	会員番号･リーダー名	旅行社他	概算費用	空き
		ツアー概要				
716	富戸&海洋公園	7/23～7/24	062 狩野幸繁	ナッソー	3.5万円	A
	「アオリイカ産卵観察」	1泊2日4ビーチダイブ「エクシブ伊豆」宿泊現地集合交費別初心者参加可能				
717	マブールエコツアー	7/13～7/20	247 長野恭子	ジスコボルネオ旅行社	15.8万円	C
		ボートダイビング･マブールとシパダンを日替わりで交替にダイビング･午前2本･午後1本と1日3本 、全食事付き･8日間				
718	ボホール	7/28～8/2	406 立木博信	エアーワールド	約14万円	B
		スキルアップDV･6DV付･関空･406･立木博信･成田･542･瀧正明				
730	八丈島	8/6～8/8	419 村上あい子	ぷちアイランド	約5.4万円	A
		2泊3日朝夕食付き 4ボートダイブ 延泊、前泊可能。黒潮直撃の夏の八丈島へユウゼンに会いに行きましょう! エアーチケット往復23,400円は別ですが手配します。				
719	徳島･阿波踊り	8/13～14	306 宮本節子	自由参加	3万円	A
		神戸三宮集合解散レンタカー手配宿16名確保 「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らな損損」と踊りに行きましょう				
720	モルジブ･クルーズ	8/25～9/1	508 安積 信	フリーウェイツーリスト	23万円	C
		ソレイユ号をチャーター定員15名の金額です。全食事付13DV･成田空港発着のみ･スリランカ航空利用･燃油サーチャージ別途				
721	三宅島	9/7～9/10	225 芳賀幸子	リーダー手配	約6万円	C
		2泊3日･ボートダイビング6本の予定･前後延泊可能です				
727	初島･土肥	9/19～9/20	026 良縁寺悦子	ぷちアイランド&土肥スタジオ101	4.5万円	B
		集合解散･熱海･4DV豪華ご馳走の宿･FAX･03-3784-3920まで定員7名限定･21日から安良里に延泊も可能です。				
728	西伊豆･安良里	9/21～9/22	172 島尾愛子	安良里ダイビングサービスTATSUMI	約3.8万円	C
		4ボート･1泊2食･海鮮ランチ･交通費別･一面の小魚と、それを狙うカンパチ･マダイが圧巻･中性浮力必須･現地集合9:30･修善寺駅8:40頃出迎え可･9/19～20の良縁寺さんから合流可能				
722	ニタリに会えるかも伊豆大島	9/18～9/21	062 狩野幸繁	グローバルスポーツ	6.5万円	A
		3泊4日ポイント「秋の浜」主体で8ビーチダイブ。「民宿万立荘」宿泊。現地集合。交費別･初心者参加可能				
729	モルディブ	10/4～10/11	018 坂東正朗	フリーウェイツーリスト	約22万円	A
		パラダイスアイランド、6泊8日、全食事、10DV付				
723	タイ･ピピ島	10/16～10/23	287 石岡弘至	ワールドツアープランナーズ	19万円	C
		成田･中部･関空･福岡･全食事付･10ボートDV5日間･タイ国際航空利用 10月は雨季の終わり、気温30水温28中部関空福岡はバンコク乗換え				
731	西表島	10/18～10/23	545 海老原新	未定	約18万円	A
		ダイビングショップは「うなり崎チーム」締切りは8/15				
724	テニス&ダイブ	10/23～10/25	062 狩野幸繁	ナッソー	6万円	A
		2泊3日、初日午後半日テニス、2日目ビーチダイブ2本、3日目午前中半日テニス宿泊エクシブ伊豆、DVは海洋公園または富戸、交通費は含まず。初心者参加可能				
733	カオハガン島フィリピン	10/26～10/31	505 永吉拓也	プラネット･ワイ	15万円	A
		何もなくて豊かな島･カオハガン島滞在･9ボートDV･全食付。初級者&マクロ撮影派の2組分け。東京･名古屋･大阪･福岡発可暦17年の日本人ガイド有。永吉同行･空港税等別。				

SDCツアー計画一覧表I
(2007年7月～2007年12月)

No	ポイント名	日程	会員番号･リーダー名	旅行社他	概算費用	空き
		ツアー概要				
734	石垣島	11/5～11/9	006 大隅照子	アクアガーデン	未定	A
		ＳＤＣツアーになじみが少ないと思っている会員対象、男性、女性共に4名以内、内初心者2名まで。				
732	リロアン (マリンビレッジ)	11/30～12/5	618 河原智怡	ワールドツアープランナーズ	約11万円	B
		マクロ中心、1日3ダイブ×4=12ダイブ、全食事付き 成田、関空発 サブリーダー 406 立木博信				
735	パプアニューギニア ロロアタ	12/1～12/8	005 大隅楠夫	フリーウェイツーリスト	約20万円	A
		コーラル、沈船、砂地などバラエティに富んだポイント。沈船は深めで、中性浮力、コンピューター管理の出来る人。				

SDCツアー計画一覧表II
(2008年)

No	ポイント名	日程	会員番号･リーダー名	旅行社他	概算費用	空き
		ツアー概要				
808	フィリピン･ ボラカイ島	1/11～1/16	480 菅沼良次	エアーワールド	約12万円	A
		関空･成田発着、6DV付、大物からマクロまで楽しめ、ショッピング･グルメ･ナイトライフとアフターダイブも充実。 サブリーダー 306 宮本				
	ＳＤＣ新年会	1月20日(日)		ＳＤＣ総務		A
		アジュール竹芝				
804	カオハガン島 フィリピン	1/25～1/30	505 永吉拓也	プラネット･ワイ	15万円	A
		何もなくて豊かな島･カオハガン島滞在･9ボートDV･全食付。初級者&マクロ撮影派の2組分け。東京･名古屋･大阪･福岡発可 暦17年の日本人ガイド有。永吉同行･空港税等別。				
802	ボホール	3/1～3/6	406 立木博信	エアーワールド	12万円	A
		レチョンパーティーを行います。初心者も参加可				
803	ラヤンラヤン	4月中旬	545 海老原新	ジスコボルネオ旅行社	約23万円	A
		コタキナバル1泊、リゾート6泊 ハンマー狙いで深く潜る可能性があるのでスキルがしっかりしている方				
801	トゥバタハ･ クルーズ	4/10～4/16	508 安積 信	エアーワールド	約22万円	A
		サザンクルーズ号をチャーター。日本人の添乗員とインストラクター同行。全食事付。4日間12DV(希望により同一料金で16DV迄可)。フリー潜行と中性浮力は必須。燃油サーチャージ、空港使用料、現地入海税は別途。				
805 806 807	カオハガン島 フィリピン	4/11～4/16 5/23～5/28 6/13～6/18	505 永吉拓也	プラネット･ワイ	16万円	A
		何もなくて豊かな島･カオハガン島滞在･9ボートDV･全食付。初級者&マクロ撮影派の2組分け。東京･名古屋･大阪･福岡発可 暦18年の日本人ガイド有。永吉同行･空港税等別。				

＊計画表はＳＤＣ会員の為のクラブ公認のツアーです。
＊空き状況 ； A:空きあり B:少し空きあり C:キャンセル待ち。
＊空き状況の確認及び詳細はツアーリーダーにお問い合せ下さい。
2007年6月現在

賛助会員通信

コスモステクノ・コーポレーション㈱
コスモストレック

HULA RE ROMANCE HAWAII
陸に上がったらエレガントにフラは如何♪

ノーネクタイの似合わない社員ばかりも6/1から我が社もクールビズ。ハワイ州政府観光局は『アロハビズ』を都知事・県知事にキャンペーン。無理！

神聖な光と花と虹に囲まれたハワイだから似合うもの、下町戸越じゃねえ～。ハワイでは力の象徴の神『クー』人を創造した神『カネ』海洋の神『ナカロア』戦いと豊穣の神『ノロ』の四大神が知られていますが、庶民は木の皮の繊維『カパ』で男はフンドシ似の『マロ』女は『パウ』のみでレイ以外はトップレス姿で自然や森羅万象に宿る神々に捧げる信仰の踊りとして、また神話・伝説の継承として『フラ・カヒコ』や『フラ・アウアナ』を静かに心をこめて優雅に舞うのです。また、レイは身に着けることで神から『マナ』(霊力)を授かる神聖な物です。

パック旅行じゃ味わえないハワイの魅力を是非ご紹介したいものです。移動はリムジンで、『マロ』・『パウ』にレイを纏って神の島ハワイを満喫してみては。ハワイ・バリ・プーケット・グアム・サイパンは是非当社へ。どしどしどしどし。コスモストレック：武蔵丸コヤマ&コニシキ重田&曙アンドウへ。

TEL ： 03-5702-9071　FAX ： 03-5498-3963

(有)フロムライフ

ＳＤＣ会報33号4月発行をご覧になって、リニューアルに驚いた方もいらっしゃるかと思います。弊社は企業の印刷物や、広告などの企画製作のお仕事を中心に展開しており、そんな事から楽しい会報作りを目指して33号より製作のお手伝いをスタートしました。

最近は陸上のスナップ写真と同様に水中写真を楽しむ方も多くなりました。皆さんの写真をカラーページだけでなく本文ページも含め出来るだけ綺麗に掲載して、その楽しさを伝えられるようにがんばります。

水中写真の上達はダイビング技術の上達に必ずつながります。楽しいダイビングライフを過ごすと共に、皆さんと一緒に写真で海の楽しさを伝えて行ければと思います。楽しさは伝染します。お仲間を増やして輪を広げて行きましょう。

元気いっぱいの会員の皆さんの活動を伝える大事な会報製作のお手伝いができる事をうれしく思います。また、綺麗な写真を撮るコツ、綺麗に見せるコツ、何でもお聞きください。

有限会社フロムライフ
藤形誠一
〒104-0033　東京都中央区新川2丁目2-1
いずみハイツ茅場町1013号
TEL ： 03-3523-1577　FAX ： 03-3523-1578

エアーワールド(株)

http://www.airworld.co.jp/

ＳＤＣ会員の皆様、御世話になります。
今年の夏場も、日本航空チャーター便パラオが成田・中部・関西発と設定され、そして、関西発は更に8月発限定でコンチネンタル航空がグアム・サイパンを毎日運航、日本航空がサイパンへ8月10日～16日発5日間パターンにて運航されます。

直行便ですので、最短で快適なご旅行が過ごせます。スケジュール、料金価格はお気軽に担当者にお問い合せ下さい。
その他、アジア・南太平洋・ダイビングエリアを含む海外パック旅行をリーズナブルな価格で、設定しております。

フィリピンダイビングツアー(セブ・ボホール・ドゥマゲティ・ボラカイ・アニラオ)は充実した商品を揃え皆様のご参加をお待ちしております。

特に、ボホールは同日乗り継ぎ便が、増便し今までの前後泊のセブが必要なくなりました。

上記以外のご要望が御座いましたら、何なりとおっしゃって下さい。

出来る限りのベストツアーをご提供いたします。

本社　TEL：06-6947-1065　FAX：06-6947-1169

担当　池永　E-mail：ikenaga@airworld.co.jp

東京支店　TEL：03-5457-3373　FAX：03-5457-3374

担当　井原　E-mail：ihara@airworld.co.jp

その他の賛助会員

(株)P. I. T

http://www.pit-di-ving.com

ダイビングショップ&ツアーデスク

ダイビング部門：雨尾徹

TEL：03-3466-6482

E-mail：diving@pit-diving.com

旅行部門：松山中

TEL：03-3466-6489

E-mail：travel@pit-diving.com

アクアガーデン

http://www.aqua-garden.net/

石垣島のダイビングサービス&ペンション

代表　社領　孝

TEL：0980-89-2152　FAX：0980-89-2158

E-mail：aquagarden.t@mist.ocn.ne.jp

(株)スポートツアーズ

http://www.tomisho.co.jp/sport/

パラオ、フィリピン・ダイブクルーズ

代表取締役　西元君子

TEL：03-3865-0130　FAX：03-3865-0138

E-mail：sport@tomisho.co.jp

ぷちアイランド

http://home4.highway.ne.jp/p-island

主に八丈島で営業するダイビングサービス

代表　金子弘之

TEL & FAX：03-3495-7015

E-mail：品川　petit@highway.ne.jp

八丈島　petit-island@nifty.com

携帯電話　090-3409-8954

(株)フリーウェイツーリスト

www.fwt.co.jp

遠隔地が得意な海外ダイビング旅行会社

担当　公野友貴、浅川正江

TEL：03-3231-0730　FAX：03-3231-0731

E-mail：freeway@fwt.co.jp

マリン／大阪ダイビングカレッジ (19頁広告参照)

http//www.marinejp.com

大阪のダイビングスクール&ショップ

全国最大級規模のダイビングプール所有

代表取締役　山本　進

大阪市中央区玉造1-21-6

TEL：06-6191-6333　FAX：06-6191-6330

E-mail：marine@alex.ac

アドミナル(株) (39頁広告参照)

http://home.att.ne.jp/blue/sandwave/index.htm/

ダイビング用品、水中写真器材販売店

☆ウエット&ドライスーツ(パールピンク)

店長　伊東ひとみ　TEL：03-3345-8790

☆器材(サンドウエーブ)

店長　近藤幸也　TEL：03-3345-0201

☆水中カメラ&ビデオ(アンサー)

店長　野本　実　TEL：03-3345-0200

Good Dive Shop

http://www.boholgood.com/

フィリピン・ボホールのダイビングショップ

代表　神田真児

E-mail：shinjik@mozcom.com

デルフィス・ダイビングセンター

www.delphisdiving.com

モルディブのダイビングセンター

津金千尋　Promotion Manager Asia

Delphis Diving Centers, Paradise Island,

Fun Island, Royal Island, Maldives

安良里ダイビングサービスTATSUMI

http://www.izu.co.jp/~arari

西伊豆安良里のダイビングサービス

静岡県賀茂郡西伊豆町安良里111-13

代表取締役　高木辰元

TEL & FAX：0558-56-0703

E-mail：arari@izu.co.jp

(有)ダイビングベル

http://www.diving-bell.com
レギュレーター・オーバーホールやスーツ製造修理をはじめとした各種サービス
代表取締役　　鈴木　栄
静岡市清水区清開2-1-3
TEL：054-336-4740　FAX：054-336-4741
E-mail：diving-bell@za.tnc.ne.jp

(有)プラネット・ワイ (38頁広告参照)

http://www.planet-y-cr.biz
カオハガン島(フィリピン)・ダイビングツアー他ダイビング地域(海外・国内)、またダイビングに限らず海外、日本国内各地の旅の手配をお手伝いいたします。
近畿日本ツーリスト7%引！JAL&ANAツアー有
担当　永吉拓也
TEL：045-333-4200　FAX：045-333-4210
E-mail：nagayoshi@b01.itscom.net

掲示板

今年度の役員の主な役割分担は次の通りです。
連絡、問合せなどは各担当役員までお願いします。

1. 入退会、名簿に関する事項：
   担当：事務局(018　坂東正朗)
2. 会報編集・発行に関する事項：
   担当：広報(302　福田孝子、005　大隅楠夫)
3. 会費に関する事項：
   担当：会計(166　島田美世子)
4. 懇親会、新年会に関する事項：
   担当：総務(415　加藤京子、542　瀧正明)
5. ダイビングツアー計画に関する事項：
   担当：(457　児島慎之介、537　奥原研二)
6. ホームページに関する事項：
   担当：(457　児島慎之介)
7. その他全般に関する事項：
   担当：(005　大隅楠夫、018　坂東正朗)

広告

何もなくて豊かな島　カオハガン島へのお誘い

フィリピン・セブ、マクタン島沖の珊瑚に囲まれた美しい島・カオハガン。

この島に魅せられたひとりの日本人が、
約500人の島民と一緒に暮らし、一緒に考えようと
「持続可能な島・プロジェクト」
と名づけた活動を行っています。

既にご存知の方、行った事のある方も多いと思いますが、当社の代表的な取り扱い地域としてご紹介させていただきます。

数多くのメンバーの皆様の渡島のお手伝いをさせていただければ幸いです。

SDC カオハガン・ダイブツアー 募集中！
※ＳＤＣツアー計画一覧表をご覧下さい。

近畿日本ツーリストのツアー　7%引！
http://www.knt.co.jp
※国内・海外とも可。一部対象外商品あり。

いただく対価の倍はご満足いただけるサービスをご提供するつもりで取り組んでいます。

他ダイビング地域(海外・国内)、またダイビングに限らず海外、日本国内各地の旅の手配をお手伝いいたします。(JAL・ANAツアー他)

(有)プラネット・ワイＣＲセンター(神奈川県知事登録旅行業第3-852号)
ホームページ http://www.planet-y-cr.biz
〒240-0022 横浜市保土ヶ谷区西久保町36番地　TEL：045-333-4200　FAX：045-333-4210
担当：永吉拓也　メール：nagayoshi@b01.itscom.net

ダイビング用品販売店 サンドウエーブ

〒160-0023
東京都新宿区西新宿1-16-10小勝ビル
地下1階、2階、3階

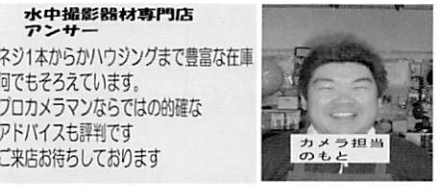
このビルです

営業時間

平日　ひる12時からよる8時まで
日祭日　ひる12時からよる7時まで
定休日　水曜日＆第2木曜日
※カメラコーナーは13時30分からの営業となります

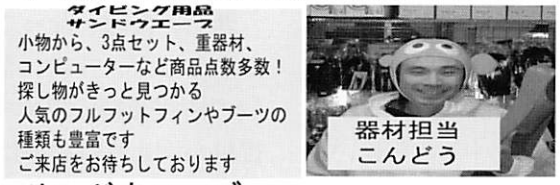
今年はツアーも開催予定です

3階は カメラ＆パーツコーナー



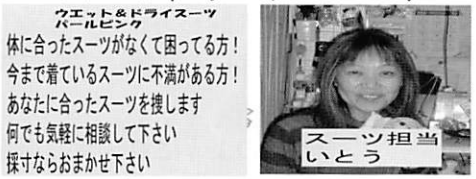
アンサー
電話　03-3345-0200
メール　umi@answer-online.com

2階は 小物＆器材＆旅行バッグ



サンドウエーブ
電話　03-3345-0201
メール　sandwave@tkb.att.ne.jp

B1階は スーツ、ウエアーコーナー



パールピンク
電話　03-3345-8790
メール　pinkmail@zab.att.ne.jp

↓お楽しみチケット

お買い得価格より更に値引きします下記商品券を切り取ってご持参ください。特典付　有効期限あり

お友達紹介10%引き券

お友達を紹介していただくと
紹介されたお客様も紹介したお客様も
お買い得価格より更に10%割引いたします

有効期限1年間の特別カードを
ご紹介いただいたSDC会員さまに
後日、郵送いたします

お客様名
ご住所
電話番号

ご紹介者名
SDC会員番号

サンドウエーブ専用

5%割引券
現金のみの適用とさせていただきます
一部割引除外品もございます2007年9月30日まで
サンドウエーブ専用

引換券
5,000円以上のお買い上げで
曇り止め1個プレゼント！
サンドウエーブ専用

引換券
10,000円以上のお買い上げで
ミニミニ水族館1個プレゼント！
サンドウエーブ専用

オーバーホール割引券
本件提示で、レギュレーター、オクトパスの
オーバーホール工賃を通常13,650円のところ
税込み9,900円とさせていただきます（パーツ代別途）
サンドウエーブ専用

5%割引券
現金のみの適用とさせていただきます
一部割引除外品もございます2007年9月30日まで
サンドウエーブ専用

5%割引券
現金のみの適用とさせていただきます
一部割引除外品もございます2007年9月30日まで
サンドウエーブ専用

5%割引券
現金のみの適用とさせていただきます
一部割引除外品もございます2007年9月30日まで
サンドウエーブ専用

ウエットスーツ5%割引券
現金のみの適用とさせていただきます
一部割引除外品もございます
パールピンク専用

デジカメの基礎の話　製作の現場から

皆さんが撮られたデジタル写真はカメラの液晶モニターやパソコンのモニターで見たり、家庭用プリンターで印刷したり、ＳＤＣ会報の様な印刷物と様々な形で見る事ができます。どれも綺麗に見える写真ですがモニターや各種の印刷などの見せ方により、キメの細やかさで大きく変化します。このキメの細やかさにあたる部分がデジタルカメラの画質と呼ばれる部分になります。

例えばホームページやメールで送られた写真など、モニターで見た時は綺麗なのですが、プリンターで大きくプリントしようと思っても、絵がモザイクの様な四角い点の集まりに見えて決して綺麗で無いと思います。これはデジカメのキメの細やかさ＝画質、が左右しているのです。

一番高画質を求められるのが商業印刷物と呼ばれる物です。会報の印刷は基本的にはダイビング雑誌などと全く同じ方法で作られています。それだけに皆さんの写真を綺麗に紹介できます。

ではどのようにカメラの画質をセットしたら良いかです。カメラには必ず画質を設定するボタンかダイアルがあります。メーカーにもよりますが呼び方は低画質側からBASIC NORMAL FINEだったりSQ HQ SHQだったり、普通　高画質　最高画質だったりします。

出来るだけ良い画質で撮影しておけば傑作が撮れた時には大きくプリントしたり会報を飾ったりできる訳です。高画質で撮った写真を低画質にする事は出来ても、その逆の低画質を高画質にする事は不可能です。
高画質でどんどん撮影して失敗作は後からゆっくり削除すれば良いのです。

デジタル写真の得意技で色や明るさを調整する場合にも高画質が断然有利です。また高画質で撮影しておけば画面の中の必要な部分だけを切り取る事もできます。

写真のデータを送る時にも注意が必要です。
HPのBBSの写真投稿とは基本的に異なります。
まず考えられるのがCD-RやUSBメモリーに入れて郵送する方法です。最高画質の写真データを何枚でも同時に製作現場まで変化無しに送る事が出来ます。一度試みていただければ決して難しい作業ではありません。

次ぎにお手軽なのがメールに添付ファイルとして送る方法です。これが曲者です。

最近は2メガ程度まで問題なく送れる環境が整って来てます。撮ったままの高画質で添付ファイルで送っていただければ問題ないのですが、ファイルを別名保存する時に「Webで利用」とか「メール添付用」を選ぶとパソコンが自動的に低画質に落としてしまうのです。それではいくら最高画質の傑作でも綺麗に印刷はできません。

最近多くなったデジタル一眼レフでは逆にデータが大きすぎる事もあります。この解決方法は別の機会にゆずります。

（フロムライフ　藤形誠一）

編集雑感

新しい会報となっての第2号です、表紙などは変わりましたが、中身は急には変わりません。会報は会員の情報交換の場です。新しい企画の提案や情報の提供が増えれば会報はより充実します。

特にダイビングに関する情報が期待されています。最近は会員の仲間同士でダイビングに行く機会が増えていると思います。そんな場合に、ダイビングポイント情報を提供していただけると他の会員の参考になると思います。会報のダイビングポイント情報を参考にして、半ページでも1ページでもポイント情報の投稿をお願いします。

（005 大隅楠夫）

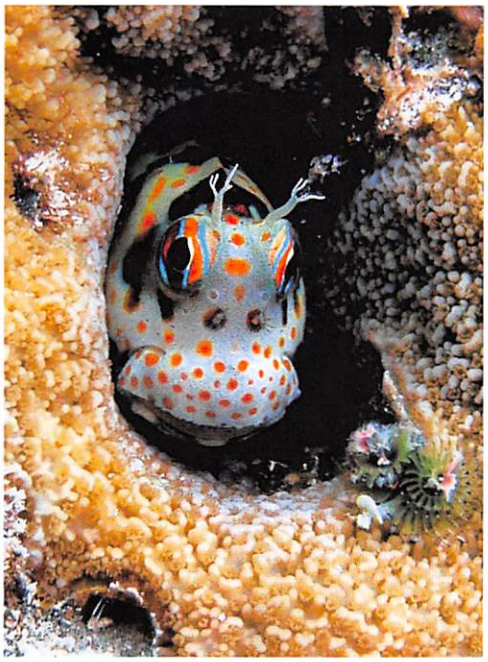
ＳＤＣホームページのPhotoBBSをもっと多くの方に利用していただこうと、総会の案内の中にPhotoBBS投稿用のパスワードをお知らせしました。投稿者が少しだけ増えましたが反応は今一です。サイズダウンがネックになっているのでしょうか？カラー化した会報にきれいな写真を送っていただくためにも画像処理やサイズダウン方法等の記事も必要かな？と思っています。

またホームページのBBSを発端として大脇さんに連載をお願いしました。ホームページのBBSを発端として大脇さんに連載をお願いしましたが、まだBBSに書き込み経験がない方もぜひ書き込みにトライしてみてください。

（302　福田孝子）

SDC写真館

今回は会報初登場の会員の写真です。



1.「モンツキカエルウオ」　626　小澤　康弘

カメラ：SEA&SEA5000G

経験100本位の時、中村征夫フォトツアーでレンタルのカメラでした。その後簡単で使い勝手が良かったので購入しました。

撮影地：サイパン・ウィングビーチ

揺れる海中で悪戦苦闘でしたが初めて会えた“モンツキカエルウオ”に感激でした。不敵な面構えでしょう。ウィングビーチの“ボス”かも？

2.「珊瑚礁」　609　小松　輝之

カメラ：Pentax K100D DIV　f8.0　1/90　iso400

撮影地：石垣島米原ダブルリーフ　2007年6月4日

梅雨に入った石垣島でしたが、この日は穏やかに晴れて珊瑚礁が明るく照らされて、素晴らしい光景でした。キンギョハナダイやアカネハナゴイが乱舞していました。

3.「百魚繚乱（ひゃかりょうらん）」　646　鈴木　麗子

カメラ：オリンパス5060ワイドズーム

撮影地：フィリピン・アニラオ　2006年4月

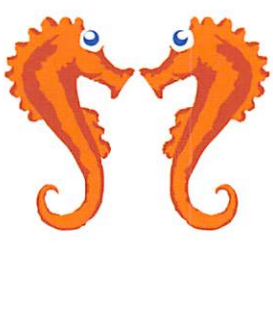
海のブルーとハナダイのオレンジの対比がとてもきれいで、お花畑の中にいるような癒しの一時でした。「地球の海フォトコン2007」ビギナー部門にて入賞した作品です。

4.「ボホールの可愛いお友達」　407　立木　靖子

カメラ：オリンパス E300　50mm

いつものように、可愛いお友達との出会いに、ウキウキしながらのお散歩で、このイソギンチャクに近づきました。カメラを抱えて近づいたのに気づいているのでしょう。

ちょろちょろと出たり入ったり…からかわれているようですが、そこがまた可愛い！こちらも連写！どうやら孫へのおみやげのお気に入りの1枚が撮れました。



SDCの紹介と入会のご案内

ＳＤＣはスキューバダイビングを共通の趣味とする任意の団体です。年齢は20～80歳代、地域は北海道から沖縄まで全国に拡がっています。ＳＤＣでは新年会や懇親会等の集いや年約50回のダイビングツアー、雑誌の季刊発行を行うと共に、ダイビング以外の趣味の会、懇親サークル等様々な活動を通して会員相互の親睦に努めています。会員数も300名を超え、更なる会の充実を図って行きたいと思っております。「安全潜水」、「個人責任」、「助け合い」など当クラブの行動原則を理解して行動して下さる方が入会可能です。入会希望の方は事務局までご連絡下さい。

日本シニアダイバーズクラブ事務局　〒203-0033 東久留米市滝山6-3-11-504 坂東正朗方　TEL & FAX 0424-74-6205　E-mail m.bando@dream.com

SDC Dive Freak Magazine 2007年7月 NO.34号
編集 入隅伸夫、福田孝子　発行 入隅伸夫　日本シニアダイバーズクラブ（エスディーシー）　http://sdcj.csides.com/